公敢
ず各地に
土木

地方に難し地方起艦の緩和に努め、近く何等かの局はと見られてある、而して整當は外の場合を見られてある。而して整當はり失致機急策として失業者の多い。

は水道工事を行ふなど殿次失戦職 は水道工事を行ふなど殿次失戦職に は埋立工事を行ふなど殿次失戦職に であると

全權一行慰勞宴

二日夕首相官邸にて

政友政調理事會を報立びにの確定である

れ次 で後二時本部に政務調査を指す して内務政務部会をして財務を開き民政院の選挙法院を作せて、して内務政務部会をして財務を作せ、 として内務政務部会をして財務を作ること」したる後勢・職査に財務して島田總務より各般の財産本法案により徒氏に委而をある。現に濱口首相の言則に依なっても明かなる如く政府は本法案によりを提高を作っても明かなる如く政府は本法案によりを提高を作ってものであるが、内心はこれが成っても明かなる如く政府が議會といる。現に濱口首相の言則に依なって法案を提出する時は不財務を作ってものであるが、内心はこれが成ってなるである。

●官職職員 潮内務次官、河田大会鐵道政務次官、菅本銭道次官、曹本銭道次官、電子銭道次官、電子銭道次官、電子銭道次官、電子銭道次官、電子銭

1847年8年14年18年7月 中国 1848年7月 184 気郎、中川正左、岡大郎、仙石貫、八田大田<l

一 『泰二特電三日報』字体等 をし同日急行で長野に起き五日か が楽率、六日無殿祭、大日無殿祭、大子田・一 が楽率、六日無殿祭、大子田・一 をし同日急行で長野に起き五日か が来率、六日無殿谷川、大子を 大子で、大田・一 大田・一 大田 一 大田 四日奉天着豫定

資源局長官

地盤爭奪に腐心

叙從三位

山西派に秋波を送り

電機、官衙へ練ずる者皆無で現職 で大変の洪水時代とて他の銀行 気と失変の洪水時代とて他の銀行

三井登記問題

『上海二日渡電通』 富地三井物産の登記問題に 関し我領事館では近の登記問題に 関し我領事館では近の登記問題に 関してこれが 取消方を要求すること かったが 外人の登記問題は ペルセンにおい 外人の登記問題と なりつ かありその

取消要求

全般的交渉に

近く莫全權に訓電

南京。奉天協議の上

北方政府に

菱刈軍司令官 初度巡視の日程

芝川陽東軍司令官は本月七日から 一二週間の豫定で左記の通り駐標第 十六師藏司令部、守御除司令部以 下滿鏡治線を部除の初度巡視に向 下滿鏡治線を部除の初度巡視に向 來る七日より二週間

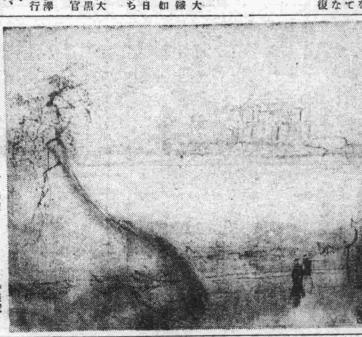
▲七日 遼陽到意、第十六師團司 会部、工兵中際、御戍病院、步 会部、工兵中際、御戍病院、歩 兵第二十聯隊、憲兵分職尚ほ遼 兵第二十聯隊、憲兵分職尚ほ遼 場納骨嗣に参拝し、午後六時半

項習、十時三分發公主饋に 中前七時三十分遼陽駐割

は、これに善處し、その打開策を し、これに善處し、その打開策を し、これに善處し、その打開策を し、これに善處し、その打開策を まいかの 大觀 觀

なる 不景無、失戦、必ずしも今日 に始まれるにあらず、そこに根本 でがまれるにあらず、そこに根本 ではならぬ野がある 策を講ぜればならぬ。 ・ この切近した失戦、不景無を ・ この切近した失戦、不景無を ・ 本した根本原因を探求し打開の ・ 一般を ・ で、この切近した失戦、不景無を ・ で、この切近した失戦、不景無を ・ で、この切が近した失戦、不景無を ・ で、この切が近したところ を腹路に窓ふっ 電影者

長としての氏の地位は如何になる」の衆務を正式に髋可した「東京特景三日登』任堂乾峰氏の「か不明であつたが、三日附で抗変 昭和製鋼社長は 韓劉兩氏膠東の 伍堂満鐵理事が兼任 | 東京三日震電通|| 阿部代理陸相に難して二日左の如く叙位の御沙 | 大があった | 佐四位勳二等 | 佐四位勳二等 | 佐四位勳二等 代理陸相に叙位





の五大政策につき意見を 遼 小陽

庵

杉放

職、源、季、許四氏の何も永續せ 関ふてるの 大、國民政府師では汪、張、唐三 ねものとして表配無関心の態度をた、國民政府師では汪、張、唐三 ねものとして表配無関心の態度を 製鋼所設置運動 けふ安義で市民大會

【母東神電二日母】昭和製鋼所新 じて来たので安東商談においてま 現られてゐるので地元たる新義州 との では二日公職者大館の節、日を期 信堂において新義州艦と相呼艦した 「一次し荒川館頭は難備受賞十五名」とに決定したので新義州商 を観信した 「一次し荒川館頭は難備受賞十五名」とに決定したので新義州商 を観信した 「一次し荒川館頭は難備受賞十五名」とに決議 「一次し荒川館頭は難備受賞十五名」とに決定したので新義州商 を経術した



答 責任の重い立場ちゃ、さら何を 責任の重い立場ちゃ、さら何

各委員及び外國側は日本、代表票群氏、吳鑛城氏、東

と観き、張琴良氏もまた 「楽穂完成のために皆の者が労 力せねばならぬ」

本十一日 八時三十分長春襲四平 中談、獨立守備步兵第一大隊第一 時、獨立守備步兵第一大隊第一 大隊第一大隊第一

▲二十日 十時三十分登口数大石 な、大石橋分院、 工午大石橋小 、大石橋分院、 工午大石橋小 を、大石橋分院、 工午大石橋小 を、大石橋分院、 工午大石橋小

の長藤馬シアメ 高大等 大き 音がり

施信主事會議職 上事會職就に地 から開催された、一同會議報に地 から開催された、一同會議報に地

官張學良氏の

はれる筈であったが東北

政府鐵道部々長孫科氏代表吳鏡城 「本工事が多年齎手出來なかつ たのは内胤が絶えなかつたため で、建設費用の禍根である内胤 を止めて事業の完成を計らねば ならぬ」

百餘名參列

▲九日 公主顧腦兵第二十聯隊、守備隊司令部、獨立步兵第一大守備隊司令部、獨立步兵第一大院官民招待、十五時二十七分經長等に向よ。 長春に向よ。 長春、步兵第三十八聯隊 獨立守順步兵第一大職隊四中隊 源兵分隊、又午前九時中より步 第兵分隊、又午前九時中より步 兵第三十八聯隊の預智、尚林、 兵第三十八聯隊の演習、尚林、

THE MANSHU NIPPO

若槻全權西下

電東京三日愛電通」 岩郷職大郎氏は、東京三日愛電通」 岩郷職大郎、 特東京愛六日朝伊勢戦宮へ発揮率 特東京愛六日朝伊勢戦宮へ発揮率 特東京愛六日朝伊勢戦宮へ発揮率

外交部次長は紫哈狀況を観察してある をした、葉濃悪氏のベルリン行は をした、葉濃悪氏のベルリン行は のでは、これるも変形側では

は は 随

南方側無關心

が行詰って ゐるとい が行詰って ゐるとい

昇給激減

「東京特電二日發」際設施下は上午名別総を三分の二の二千名だけ 十名別総を三分の二の二千名だけ しか別総させず解る一千名(六十 しか別総させず解る一千名(六十 しか別として別論ととなった。

十分三七

きのふ起工式

不況は慢性病ぢや 名醫の診察が必要

俺の注射がきくかどうか判られ 仙石總裁記者と問答

凉

花莚を求める

を襲して集めたコレクションが を襲して集めたコレクションが を変して集めたコレクションが でたが、ココに至るまでには関 でたが、ココに至るまでには関

た、送主はが総ペンガリーのブ た、満知の中には一通の手紙とペンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 とペニナ年間を費して郷めた品々

5月山氏並に外務省の丸茂(株長) その他意集し博物館の一部に陳

したほどの親日家であるが、親 日家となつた順機は明治四十年 フタベストで日本博覧館が開か

高壓線に觸る大連取引

格神術療法

・同女史が学生を捧げたコレク

ヨンは三百九十五

ーガリ

十年掛りで集めた參考資料

に在住し離見知りの現在牛込區いので數日前、強てブタベスト

十歳、瞬節の未ば人である したものである、クルッ夫人は

年間、日本から何の晋沙汰もなところが、一方クルッ夫へは三 年間閉じ込められ今日に及んだ

考を制を取門所、米統所に 動物 等に関する書籍及び陶器、判職品から繪器等まで新聞ない、手歌品から繪器等まで新聞る 製物語る 製物語 る 製物語 の ままままます。

に一年、東京博物館倉庫に二

親日の老女教員から

に館長を訪り総議の総集、戦列して来たので、戸山氏は博物館

として自分の原語を三年分貯蓄

貫情を物語る

なはこの外相當の申込みがある智 でこれ等のうちには卒鄭論文の林

がまれてゐるが、これは大將が大 田中義一郎」と

上海で狙撃された直後軍人田中十一年フィリッピンからの踊り

の裏碑銘は故大將のらちにも喜んでゐる、また大將

大將の清貧たつた證據だと琳しさ度だといふので、知友たちも生前

美しい

贈物

歌が増加して係りのものに多性な 撃を聞くと急に専門學校級の旅行 撃を聞くと急に専門學校級の旅行

日を選らせてゐるがその主なるも

廿五日)▲東京樂專七名(廿四日)▲帝大州名(廿五日)▲明大十五日)▲東京農大十名(廿五日)▲孫北高商廿二名(廿七五日)▲孫北高商廿二名(廿七日)▲孫北高商廿二名(廿七日)、《南志紅二十二名(廿九日)

を御巡覧殊に秩父宮殿下の御在學あらせられたマグダレて御食事を踊らせたのち學校内の数會、麟場、圖書館等

大學には御輿院(乗された、かくて中庭にて記念御撮

ド御到着各大學を御見學ペンプローク大學の學生食堂に同夫人等を從へられ二日午後一時二十分オックスフォー

『ロンドン二日發電通』高松宮同妃脚殿下は松平大使、

牛津を御訪問

御兄秩父宮さまが御在學の

マグダレン大學に深き御興

高松宮兩殿下

の來電に各搭乘者勇みたち観川大の來電に各搭乘者勇みたち観川大

最高が八十圓、それも鵬べた九十 との幸運者達の初低線なるものが との幸運者達の初低線なるものが 名のうちたつた二名、お次が七 の二十四名、六十四圓の十九名 上も就職職線を彷徨してゐるの様が百人のうち九十パーセント で大十八名も占めて断然多。行場出發牽天へ営中職送された、 に就いて見ると六十周から七 郷三機は三日午前六時卅分所澤飛 郷道つて航窓氣象の取纏めに急が 率天支那側に貸與する八八式飯祭 以下出場、梅雨期の長距離飛行を 一次のさへある。 一次要形側に貸與する八八式飯祭 以下出場、梅雨期の長距離飛行を

をやろかも今は夢、それ等の歌 體に就いて見ると六十圓から七低五十五圓といふのさへある。

わが偵察機

所澤を出發す

着奉は六日ごろ

特電三平均率は から大學まで永い歳月かよつて一と大分低落してゐる、何しろ一人にと大分低落してゐる、何しろ一人に 大二圓だから情ない、更に各種專! なみの二十圓といふのさへある 田で見れば食ふや食はずの月給六 番多いのは三十五圓で最低は給出て見れば食ふや食はずの月給六 番多いのは三十五圓で最低は記十三十二圓だから情ない。 五圓十九名その他で最低は三十二 は六十二圓見當で へ貸與の 番多いのは三十五圓で最低は給仕間の安さである、中歌卒業生で一

様なら娘をやろか」 漸やし就職戰線を乗り切つた 幸運兒の初任給は? |門駅校、中等野校平覧者に至っては一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめでは一層みじめで まで一千キロを突破し、同地でガ 前後には第一コースの九州太刀洗 前後には第一コースの九州太刀洗 の管理準備の完成を待ち六日ごろ で譲出頭の管である 破し平虚飛行場に飛び率天飛行場 操縦、麋田工長同乘爆音勇まし

負 同乘、五百三十二號 t 齋藤中園 (東東) 大五百三十二號 t 齋藤中園 (東東) 大五百三十二號 t 齋藤中園 辻中財操縦、中村中尉同乗、五百七郎は

大連市長ら

卸賣市場改善

連日人氣を帰

きのふは

太田關東長官ら参觀 る遞信展覽會

田陽東長官夫人ほか在旅高等官夫の適信展覧管は適日大入議員の

送した陽東長官筆蹟) 関係的人気を呼んでゐるが、太田のの人気を呼んでゐるが、太 衛現業室等を熱心に見學し午後三 局着、ルーフで記念撮影の後三 時に が、ルーフで記念撮影の後三 時に を いった。 と いった。 と いった。

三後中同局を退出した(寫眞は電

喧電信機械器、二階展覽會場、一 歐順發、午後一時二十分大連郵便

超特急列車 けふ わが國交通史上の劃期的な

試みに東京驛大混雑

佐から「國際飛行の成功を輸る」」に着くまで國府港で機関車を補充の來電に各搭乘者勇みたち蟹川大(分に橫蹬を出たら午後一時名古屋の來電に各搭乘者勇みたち蟹川大(分に橫蹬を出たら午後一時名古屋が即の艇所も飛行に差支へなしと)る陸運転列車に乗込む、七時五十鈴鹿の縦所も飛行に差支へなし、、所澤は珍しい快階、縦楔、一時十分第四ホームに横たはつてるしい、所澤は珍しい快階、縦楔、 電東京三日製電通 表製変通史上は ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は午前五時頭から一般的乗者が見 ・ は一般の表表のである。 ・ では、一般のである。 ・ では、一般のでは、一般のである。 ・ では、一般のでは、 するだけで無停車といふ素晴しいや試無者に女子供老人が多いのでや試無者に女子供老人が多いので 分注意してやつて臭給へ」と離散が出る人とである。 の熟臓職つた見激りと概呼の渦を列車は晋もなくごり出し織相以下 見致り人の無遇ひやらで大混態をや試乗者に女子供老人が多いので

「おらが大

人將」の

清貧だつた故田中義一大將

産兒制限

こう

も新盆

遺族は中野に佗住居

の遺産もあらずと親族までが思い時の持主だった大粋は定めし相談

後に一路西方に驀進した

全満中等學校の

對抗水上競技會

來る八月十七日擧行

日 優勝候補にあげられてゐる ・ 本競技種目 五十米、百米、二百 ・ 大、二百米平泳、三百米メドレ ・ 八百米リレー、八百米リレー ・ 八百米リレー、八百米リレー 正隆銀行が

正隆銀行では収締役兵須久氏を成定代理人として市内入郷町四一番地(現住所蔵鑑縣八女郡上妻村)

り三十三萬五千六百六十六圓の約 - 墓地に離ること、なつた、色々の離ビル線管者糖佐太郎氏を相手取 - 墓石も 出来て統前に多摩

一種目に付 二等三點

卒業論文の

材料集めに來滿

七月の聲を聞いて急に増えた

専門學校級の視察團

なり、一方故人が生前自ら響いて

「東京特電三日数」田中義一大将 が、田中家では数日前に熟族會議 が、田中家では数日前に熟族會議 を開き財産一部の處分を決定し、 管川北町の邸宅も人手に渡して遺 様ステ子未世人(*も遺見・鴻和高校) 生離だ(**)遺見・鴻和高校) にか遺族が男爵家をたてられる。 常といつた具合で、扶助料でと の麹町別取も約十萬圓の借財の抵 銀蓄時



愛 きなう 出進に連大 荷着目度五に用線式

の二年執行猶豫を言渡された

と情量を計量され態役六ヶ月で形を動ると情景を計量され態役六ヶ月で形

夏モーニング豫約奉仕

世界各國酒類:

食

料

00

なると食堂の 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通 大連市連鎖街の資格通

B 英國製黑カシミヤ 編本コールズボン付き

(編集白本サベル)

金五十八圓也

(貳百着限り)

(編等專單出立) 金六十五圓也

大連汽船東梯丸は三日午前名古屋との成績如何により今後ドシーとの成績如何により今後ドシーとの成績如何により今後ドシーとの成績の何により今後ドシーとの成績の何により今後ドシーとの成績の何により今後ドシーと

別誂高級仕立

期間中は假縫付

春日町 電二0三一名

北崎新一氏が標準である大連に持つてくるといふ、なほこれが準備のは魔知縣より農林技手 二少年に對して 大連市験詞的二十 大連市験詞的二十 大連市験詞的二十 切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 エ具、金物では、対象を 1川商店

御契約金五圓申受残金出來、納期御注文後

残金 二囘拂にて頂きます文後三週間以內

御一報次第見本 強ニに倒す法を頂 きます

購買組合御指定

接替口座大連三四三九番電話六六二七・二二二九番

大連市大山通り

引受期日七月一日より廿日迄 | 海印ある御注文書を最可受期日七月一日より廿日迄 | 畑方沿線は當日の郵便

列車妨害で

懲役一年

誌安格 月報涯呈東京京播松屋町一ノ匹近江屋書店主て工日小資本で誰にもスグ川來る書籍店

7

電話七一五五番



山口騒響流戦性中村学場田之北藤 一大大の長女多子でして先年 一大大の長女多子でして先年 一大大の長女多子でして、 一大大の長女多子でして、 一大大の長女多子でして、 一大大の長女多子でして、 一大大の大の大が、 一大大の大の大が、 一大大の大の大が、 一大の城友達で多子の所在を知って 子の城友達で多子の所在を知って 子の城友達で多子の所在を知って からと三日政吉より小崎子場 を調る意味で目費し破別に業出し たものだらうといはれてゐる 親戀 L 取調べ依頼 閣

へ取調方を依頼して來た

不敬の船員

懲役六ヶ月

二年執行猶豫

の支機職家を行ったものである。
なで記を定右に託して支機はぬの
みで記を定右に託して支機はぬの

条圖般 三四二五

日本各地名産 最も適當の 珍

電話(二二四八一)

般御得意樣

御客様がどんな理由にせよ御不満の場合を除からと言ふので御ざいます、御需の品が御考へになつたものと相違した場合、又は、御歸宅後の御都合にて御不用になつた場合、同一の品好が變つた場合、家族の方が別の品物を御好になる場合、同一の品好が變つた場合、家族の方が別の品物を御好になる場合、同一の品が上述べました制度から生ずる利益は無數で御ざいます即ち時間の以上述べました制度から生ずる利益は無數で御ざいます即ち時間の以上述べました制度から生ずる利益は無數で御ざいます即ち時間の節約、氣持よく、完全にて、安全、掛引の不用、等々

船 行 返

如何なる難病も必治の格神術療法を實地に見よ見學歡迎 大連市近元時無料治療 大連市近元時無料治療 消淋 療法傳授料金五圓也 道而羅儀は五日午後四時途中行列を嚴し西本第一位(依)分死去教候に付此段側通知 **昭和五年七月三日** 渴病 友

ルーフを開きましたから御越下さい 常 盤 器

男女給仕各一名募集 男女給仕各一名募集 カーロー サット、ビューロー サッド ボール カー・ボール カー・エー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボール カー・ボ

「じょ、厳談らやアねえや、油

風雲天滿草紙

片岡千惠藏主演の時代劇

讀者階上七十錢階下五十錢

しがもその手は帶にふかく秘め

幸权

清岗

「客にか? どなた?」

處へヌッと館を出

亮之助は驚高に罵った。

●●●● 二三三二三 八フョウカラ 四四二二三

〇〇〇〇〇 三三三二二 九五 ラカル

五五四四四

亮之助は耐へかねて注意した。

で、 売之助、 不翻げに妙香をおて、 売之助、 不翻げに妙香をお

と、妙香は左近かと小腰をから亮之助である。

「あ、これ、三蔵、左近酸がどう」

ニタリ笑ったっぱ、 むんづと妙をを能に抱へると、ノッシノッシッとの間へ運んでゆく。 関の間へ運んでゆく。 三臓はさすがに顔をそむけた。

蔵は離尻あげてピシリツとそ

やるのよし

うな手荒なことは止せ、血卍の名

一気之助は苦べしげに云つた。 三臓は慌てて亮之助に囁いた。 三臓は慌てて亮之助に囁いた。

のだ、酸洪美い女ぢやアねえか」 のだ、酸洪美い女ぢやアねえか」

つたら、

っさ、どうぞ、お上りなせえまし

なアるほどこいつア氣

妙香は何となしぶきみな過りの きお飾りでございませら」

ばりと云った。

香を追びつめるや、アガウいて別がひじめ、

洲日

報

で、三蔵矢庭に妙香へとびかいのなられえ小娘だなアー 光療治が始まるんだ、さ、おとなりもうで左近標が御踊りなさりやア しくしてゐねえと爲にならわえぞ 「おつと、ちたばたしなさんな、 あッ、何しやる!」 双手をひろげて枝折戸の際へ好

主催滿洲日報社

電子七十級 衛子五十級 にの併特の者に限り にの併特の者に限り

「この母を見る」 讀者優待割引券 間上七十段 階下五十段 この祭持参者に限り

▲講話、米級県生氣質)武田胤雄 ▲流前琵琶、坂本龍島、法命山木島 旭山 本江言、箕破×シテ俳人、土田他吉 ボートを見ず所を買 おが代(EIDアメリカンバト



闘ン氣ご梢 け・持やに るムなかは 天堂並風呂崎

0

走馬

にんしん 按腹乳もみ其他腰痛手足の痛む飼方線 は御来堂下さい いり灸マッサージあんぱく かり灸マッサージあんぱく 総語八五〇八番

風

0

白生母里大天

藤流を見日満

愛累見凌研草

而國館

重宗務監督

日祭の・

毎週洞へか

、金午後六時より四時迄

か知れやせん、さうすりやア芸様なたしか頻量町へおよりだつたおりだった 見てとつならしかった。 三版さすがに日飯くもその態を も通れやうてえんだ。この嬢をかっ、火定の鏖磨まで腰をのばして リはすつかり出來上つちまつたんどこぞでうだつてゐる間にカラク 「ふん、細工は粒々よ、てめえが「どうするんだ」

同じやうなことを云ひわけがま ちてゐた荒離をひろひあげた。 ちてゐた荒離をひろひあげた。

この母を見よ

映畵會開催

磐城町大日活に於て

七月三日より一週間

は、この二の話り在記は一座の最も得ない。 は人のために一生を犠牲にする悲し人のために一生を犠牲にする悲しい。

第四 喜劇『悋氣の薙刀』二場

沙河口で開演

日限り沙河口麒場に出滅すること 高級薫炭砂川捨丸一行はいよく 今戦限りで歌舞を整をうちあげる が西部大通愛好者のため明四日一 が西部大通愛好者のため明四日一 十五日初日が延びて二十日頃になりさうだとのことに▲冷部とぶつかつて夜相撲になったらどもしよからといふ心部がが大分あるらしい

▲オーケストラ(一)米國本歌(二) 自午後三時二十分 野球連絡放送 自午後三時二十分 野球連絡放送 (質薬對入縣製鉱第二回職)

40 後篇時代の踊子前篇 時代の踊子前篇 上前後篇同時封切上映一 北柳情話

場面(大明暗)

實 市 元 本

八つて左三軒目

海面け致します 海部 110 1 五番 一圓二十銭ョリー圓七十銭迄二圓二十銭ョリー四日十銭。 Ξ 圓

『この母を見る』の

左近樣

で、いやに騒々しいと思た、いやに騒々しいと思た。 大劇の二の替 **柯瀨蔦子一座**

態よ今夜から 「この母を見よ」の會 『風雲天満草紙』と大日活で

船で着く客が代船となつて一日まれが今度は渡霧のために昨ずの情報ではけぶ日渡崎に入港は難しい野ではけぶ日渡崎に入港は難しい 滞在し▲普通だつたら二日の入港 乗り避れて、門司に 乗り避れて、門司に

中、が勝ち行文第 一関に二回寫眞の替る活動は浪速 町の……浪速館 東正留寺に退館 文育 型档特别大梁大奥行业特别遇間——

片岡千惠厳の 活

梅村蓉子主演 唐 此の母を見 人 次週公開決定 刊別公開 お



-- [7] --

では、三版・」 「おい、三版・」 「おい、三版・」 「おい、三版・」

近線、左近線!」 「ええ、うるせえつたら、腰らね

おいらてもつといい功徳を授けて ちら落思心づらが笑はせやアがる の娘を、荒職でひつくくつておき

陣CEO

あツ、助けてえ

だが鍛誠!」

原

塚龜

太 雄

郞

(161)

第六回滿日勝繼碁戰(時

三回目)先二二子番

井上 太市氏 太市氏

畫夫

大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文館原作 大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文壇の雅 大佛次郎原作 大衆文壇の雅 大明大郎 京子主福 七月一日より公開帝本登良男復職第一回監督帝本登良男復職第一回監督帝武士・姉妹職 程共二十錢開放 かならり・尾崎靜子助演 松枝つる子主

大日本麥酒會社 特釀 宅 電話代表五一九九 (白瓶)

特三 別日 公封 切

光美よ洋司紙 滿 日 催主

成構人同座面 畸 演主子妙間久佐・子合百英・子かた江入・子久花瀧 藍霧藍譜

質本位の

商店商

十十圓圓三五十十

鲢錢錢錢

• に同こ母の兒の此で處何時何又もし妾しかし 。すまりなご母の二第が妾 。たしまに死は母の兒の此・

•……いさ下てつやてつなに・母の四第・母の三第かうどが様皆は時のそ。んせまれ知もかる陷に命運・

篇前畵映代時作特ロフ藏惠千活日 演助鈴十五田山・子燁久竹・生彌上川・治文小川市 演主藏惠千岡片作原三津味木々佐 薬グンキ 離

・卷拾篇前の點萬趣興・史生半劍義るゆ燃に血の郎八平鹽大人義る つめしせ狂熱を者讀の萬百グンキ



まりに生々しい現實であり現代社會機構の缺陷の日の悲慘なる末路の物語りです、若い美くしい寡路頭に迷ひ、あらゆる就職への努力も空しく病兒 からず んば死

現代に生 きんとする女性より〇を しく機能することを許されぬ

荷動き不振 全國國 り四年五月までは七百廿四萬 ・ 減少率七分五厘

は四年五月1. (本学一月以降五月までは五割九 は四年一月より五月までは五割九 は四年一月より五月までは五割九 は四年一月以降五月までは五割九

見本市前書

また先物の大量収配を目的とする れので膨供を関形ならしめる、 また先物の大量収配を目的とする を管に抵供をしむることに

が各國に於て素晴ら

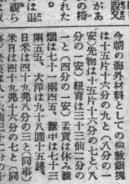
一向窓立へない、満洲見本市に於 位の公開を行ひたいものである。 位の公開を行ひたいものである。 位の公開を行ひたいものである。 世想からいへば正札付のま」公開 を決定する響であるが成だけ等日 したいが眼値と小優値に非常な開 を確認からいへば正札付のま」公開 を確認からいへば正札付のま」公開 をである。

雜觀的批評と希望

洲大見本市が生れたことは

見本市より顕際的見本市の域に入





鈔票は强氣配



東新公里 150 渡10位 大学 150 疾10位 大学 150 疾10 大学

のでも御利用下さい 何でも御利用下さい 飛騨で御旅行の事は

活版·凸版 語印刷



一、物質下落(東京) 昭和 四年六月と五年五月とを比較すれば下落率一割四分二厘、同期 同ロンドン一割、ニューョーク に比し本年五月末滯貨は一割一一割三分二厘下落

中、計畫資本減少(會社 「大田」の一方子区 「大田」とは電響者を年の要素を年の要素でもこうた。 「大田」の一方子区 「大田」とは電素者を年の要素を年の要素でもこうた。 「大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子区 「大田」大田」の一方子とのもあるが其の大部は支 大学で説は一部分前年中 「である、之等正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である。)でで 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である、大学正説は一部分前年中 「である。」 「大地」大連五 「大地」であるが構る共能機能であった。 「であるが構る共能機能であった。 「であるが構る共能機能であった。 「であるが構る共能機能であった。 「できしてあるが関係で表にしている。」 「大地」 「であるが構る共能機能であった。 「できしてあるが構る大能は支 大学工 「大地」 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能は変 「大連五 「であるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能機能であった。 「できしてあるが構る大能性で表に、一方で記述であるが構る大能性で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で表に、一方で説を表に、一方で記述。一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を表に、一方で説を、一方で説を表に、一方で記述。一方で説を、一方で説は、一方で記述。一方で説は、一

大連五品取り所では三日櫻内理事が発達するので午後五時から取り所において大株主有志と會見し減資整理に開けて相談會を開くと 五品相談會

時に出動し、前風務田中喜介氏と豆信事務田村羊三氏は三日午前九日

O HOHO



田超減四千六百萬弗、英國は輸出一翻三分六厘減、線入一割四四厘減、入超減四百二十萬磅) 厘減、入超減四百二十萬磅) 一、失業者增加 內務省 社會局關查、四爭九月二十六萬 八千五百九十名、五年四月三十 七萬二千百二十七名、比較增加 十萬三千五百三十七名、比較增加 十萬三千五百三十七名、比較增加

する 正貨準備高

土地磁管で土地製具係者の膨電紙の通りで、総切後相當の日子を被立地費中であることは野報の通りで、総切後相當の日子を被しないので認立の運びに至らに遂しないので認立の運びに至ら



この不景氣を見よ 數字上に現はれた實狀 東京商議調査

▲東短前場 滿線新株(別保合) 「清線新株 二十九國

手形交換(三百) 奥地市况(証 期)

優品良質 米穀商 心 志摩洋行 多少に拘らず御り 電話[四三六] 番

婦人の病は婦人の手で



渾然たるサクマドロップへ

年上半期流出高は百五萬三千圓で は二億二千三百八十三萬九千圓と なつた、而して金輸出禁止中の昨 なった、而して金輸出禁止中の昨 事務の 外編きをなし、 金銀流失高 二億二千萬圓 たまちに関

◆…然るに最近民間實際家系統より人物を物色して確位せんとする激闘ありと際へられるがもしる激闘ありとのいられるがもし

●…しかしそれが機能によるとか ・…しかしそれが機能によるとか 或は抗角の英階的意圖も人選を 製なにおいては盲壁なりとして 民衆の失望を買ふに至るべし。 民衆の失望を買ふに至るべし。 日六十名を統領費し日支露収別人 百六十名を統領費する所長の人選を を世人が注目するのも盛し故な

受らしい形・高雅な色・ゆかしい香

東

X外内

東京期米 東京期米 三之元 東京期米

であれば何ら有効な結果を期待であれば何ら有効な結果を生であるとして質行するとのことであるとして低利の融資をなすを條件をして低利の融資をなすを條件 菊本直治郎氏

(四)

募集が頗る困難

四億

滿鐵消費組合 ある

法人登記 南京政府の 令

撤廢論は否決

共同仕入機關設置と輸組提携

經調委員會で纒る

年

t

察界方面の意見は左の如くである

に関し散策をなせることは野報の如くであるが、右に闘し實

四

月

淺野セメント重役

白石元治郎氏

五

所管内に於て默默の人心作興に寄興すべく 「電話擴張促進に關する件」、、明見保險實施の件」、、小見保險實施の件」、小見保險實施の件」、小見保險實施の件」、小見保險實施の件」、小見保險實施の件

原原特像二日發」小泉遮相は二日の陰蹻に於て現下の味料。東京特像二日發」小泉遮相は二日の陰蹻に於て現下の味料

新經濟政策の批評 小泉遞相の献議せる

况 産

買氣ありて

大豆强調

正 全米級勘定) 日本向参着資(銀青) ※週級 日本向参着資(銀青) ※週光 上海向参着質(銀青) ※週光 為替相場企

午日

倫敦向電信買(12)1元30片八分至 施敦向電信買(金買)1元湖へ分 上海向電信賣(金買)1元湖へ分 上海向電信賣(金買)1元湖へ分 一方月買(同)三元30片式分平 一方月間(可)三元30片式分平 一方日本向電信賣(金属)三元30片式分平 一方日本向電信賣(金属)三元30片式分平 一方日本向電信賣(金属)三元30片式分平 一方日本向電信賣(金属)三元30片式分平 一方日本向電信賣(金属)三元30片式分平 一方日本向電子30片式分平 一方日本向電子30片式分平 一方日本向電子30片式分子30

正 金(金勘定)

内地ボンヤリ 五品は聢り 式

ーと(三十二分の九高)米支は三十七邦八分の一と(八分の一安)上海標金は六百兩八と寄り五百九十一兩丁度と止め宮地の銀價は强調を呈した ヤリ、警市場及 來高{銀對途 計入萬八千圓 商 場

大阪棉花

大阪 十十月月月 11世20 十十月月月 11世20 11 11世20 11

|優雅なる古典文學は、善美を極めた本文庫の如きものに盛られ

て、益々その悠久の美が輝く。

込所

有

朋

一たび逸した好機は二度と來ない。

■詳細内容見本を御請求下さい、今すぐ、好機は逸し易い、

而も

(IIO III

I⊚

■斯くの如き至便有利な提供は、今度限りで、絶對に繰返す事を

▽三十册一組▽一組申込めば、

他は十册以上に限り自由

しない。

ソ 曾 切費

期一日册

七月十日限り延期一圓 申込金 一組

선 _

ぬ圓

大油市油餅商品

街殿小路

▲依て今般更に残り六十册と併せて全百廿册の特價版を提供する



色

を施さ

20

3

生

宮內省御用 麒麟麥

所込中鐵道

株式會社

て御贈答に最

適

大連市近江町

清凉飲料

サイダー タンサン

品質本位の地球獅子



印刷 東亞印刷能式大連支店

オフセツ 活版。石 ● 版 | 大心 太大 |

道大路

目町街街街南

際観の完全なる

ジュラッシア蓄音器

亞針引浪板 亞倫尼不能 所張出店支

會就武式

積資 金金



養億圓(全額拂込濟) 壹億壹千壹百五十萬圓





機造一計算一監督 宗像建築事務所 1841宗像主一 電話代表七一〇一番地大連市山縣通一八二番地 特專 品產 許賣 爱 女男 家具 裝 化理合業產

孫員參上御相談中上ます 理送,自動車

公式會社

38 62 844

目 ○付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並員爺鑄物、酸素瓦斯○ 內, 「礦、 內機烟突、各種機械類、設計、製造、拐 耐寒防水覆布

社式

製筋混凝土工の確實なる施工 河池カール・ツアイス會計製 クス・レンズ 殿を話っ







△古典文學の理想的覆刻として『有朋堂文庫』の名は夙に人口に

特價版會

●善書普及の意味を以て囊に天下に提供した所の特價版六十册は 絕大の好評裡に、來る八月を以て多數會員に對する頒布を結了

膾炙してゐる。



品 ◇鐵橋鐵桁

鐵骨家屋、豆油容易鐵道線路附屬品及



妙案の有無を質す

團琢磨男より答辭

ドイツにおける

失業問題の對策

加すれば自 でしてある。ドイツ然り、イギ 働大臣ステーガーワルト氏は 中央業者増加 を来してある。ドイツ然り、イギ 働大臣ステーガーワルト氏は りス然り、アメリカが然りである いった話であ のを できると言って保護主義を採用し たい、今迄 さらかと言って保護主義を採用し たい、今迄 さらかと言って保護主義を採用し たりのの である。 は、一寸出て来ない、然し政府は は 一寸出て来ない、然し政府は ない の である事になる かい 要がる と である と でん と でん と

二十億マルクの数清費を出すの なでは失薬問題の解決とはならな い、質観的に失業者を減らす事に

といってゐる

まる六月五日の欧麓で決定した ドイツ政府の失弊者減少野策は大 要次の如くである

増加の原因ご對策

電話會社案に關

『京城特電三日登》朝鮮、満洲の陸軍認部隊に領下賜の御風 東軍司令部には村上副官にソレム、順連され殿所裡に終了し 東軍司令部には村上副官にソレム、順連され殿所裡に終了し た、第十九師麼秋山登課、陽東軍司令部村上副官は三日夜龍 た、第十九師麼秋山登課、陽東軍司令部村上副官は三日夜龍 た、第十九師麼秋山登課、陽東軍司令部村上副官は三日夜龍

『北平特書三日發』北方政府組織 したので山西郷と奉天派に信用るの承職を興へた、臨時政府は經費 てこれが具態化を賦りつゝありと
節約の監から小規模のものを企画 いはれてある いはれてある

資本主義國と

經濟關係を結ぶ

『東京特電三日巻』不景無時代の

五品の減資は

五百萬圓に決定

理事長、大株主懇談の結果

總會は廿三日開催

四千萬圓程度か 四千萬圓程度か

但し同主義への轉向は排斥

全露共産大會で强調

きのふ朝鮮軍司令部に於て

懲よ調査會を設置

相の主義に基き

五、會社監督の範圍

と資本主義國家との一層圓滑なる「『奉天特家三日登』へしく標率中等を決議しソウエート、ユニオン 張作相氏師任

滿洲見本市

过

說

林奉天

入總領事說有力

昭和製鋼所の方

様を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強想さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強想さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強想さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強想さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減收を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる を前年度の同期管調に比較するとの大減収を強調さる

鞍山製鐵撫順炭礦兩部長も擔任

自分の本職は

部一登級につき帯行職館を求むる書も

のあれるところによれば峨石鸚鵡 人物を塗つし乗って埋事に任命した最長数よりも更に遥かに大物、 意味にて電電考慮されてゐな複様 も局長数よりも更に遥かに大物、 意味にて電電考慮されてゐな複様 である

でこの分では今年は四千萬圓見當 獣脈で鳳遊発者の脈影するもの線

「東京特職三日教」経衛中であった構造理事三名の中一名は世評のた構造理事の後任として外務地はより提羅の方針で、協経衡中である、その中外務畑より影響の方針で、協経衡中である、その中外務畑より影響の方針で、協経衡中である、その中外務畑より歌音については大陸によれる理事については既に一時日前である。 名は社員より拔擢か

界對策に

首相以下關係閣僚出席上

小況打開策を協議

同理事は三日正午昭和繁鑠所計長 事は新任と同時に製織部長ならび 事は新任と同時に製織部長ならび

んだしくなるが、これを機會 と高線社員路君その他へも何分 に高線社員路君その他へも何分

芝罘青島海關も

山西派乘取るか

同時に北方海關總稅務司署を

設置するに至らう

満鐵兩理事の

らず山西派の手に歸することは明 署を設立ずべしといはれてゐる取に次ぎ之宗、青島の《陽も遠か に入ると同時に北方海陽總既務司取に次ぎ之宗、青島の《陽も遠か に入ると同時に北方海陽總既務司

間島に警官増員

吉林民政廳長等視察の結果

成決定事項

産業の立直

現下の萎縮せる財界を活氣づけして種々意見の開陳あつて三時散により

台理化が刻下の急務

席上に於る

對支對滿蒙策の で物色か

谷口軍令部長 加藤參議官訪問

御眞影傳達式

務畑よりの候補者に関する一部の るが、他に有力なる一説として傷。 「東京特点三日發」 蔣鐵理事の外 下馬評については別項の如くであ 北方政府の樹立をば

重大性に鑑みて

一大戦、農地科 ・ 大戦、農地科 ・ で殖産部長室 ・ で殖産部長室 ・ で殖産部長室 ・ で殖産部長室 ・ で殖産部長室 ・ で殖産部長室 ・ で発達の ・ で発達の ・ で発達の ・ で発達の ・ での ・ での ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ でを ・ での ・ でい ・ での ・ でい ・ での ・ でい ・ での ・ での ・ での ・ でい でい ・ でい ・

閻錫山氏遂に承認

黨問題は孫氏を中心に具體化

であった張作相氏は本日午前五時

鐵道省の

時間を神経の正日を1過機へを1000円 1000円 1000円

大タクの

電話番號

定期後場《單位》 新付高值安值大引 期近至至量10五公量 新付高值安值大引 期近至三公量 田水高期接 金對洋 一時半 高盐 1154 11120 1164 至 至 1150 1180 日本高级 金型 三 154 11120 118

▲竹中政一氏(満線經理部次長) 同上 ▲高橋陸一氏(貴族院議員) 同上 來連 來連

鎌を添ふ

としてゐる、配も此の現象に直配。正に貸家の大洪水時代を現出せん

頃まで住宅艇を喰ってあた奉天は

家は日毎に増加し町によっては二 ・ 変速した代用記窓二十餘戸に達し ・ 変速した代用記窓二十餘戸に達し ・ 変速した代用記窓二十餘戸に達し

避暑家屋に放火

家賃引下論擡頭

一割程度引下が妥當

なり自動車はレールの下敷に木端を上なり回過はからくれない、 阿鼻呼喚に燃焼自もあてられず、 一時は交通頻繁な箇所だけに黒山 の人騒を築き大髄ぎであつたヘル

に支那商人の域内張揚げの爲め窓る内地明揚や店舗の縦小併合、殊

手の電低か目下取調中である である自動車事故として未 が、踏り番の過失か、自動車運転 が、踏り番の過失か、自動車運転 が、踏り番の過失か、自動車運転

露天掘ボタ捨場に

亦で女の首無死體

不義の男女を成敗か

复家激增了

めに好ましいことであらう 下したので出口をふさがれたその時貨物車が標準したのであつたが乗客 サニ名、運輸手サドコフスキー、 ボウトフ助き、ネクラソフ車等が ボウトフ助き、ネクラソフ車等が

行掛りを水に流して 外部には同氏の心事に疑惑を抱き新聞界の一部でも確合氏問責 き新聞界の一部でも確合氏問責 る、確存氏は二月三月は東部線 ないが吉川之康氏始め同氏の 平ないが吉川之康氏始め同氏の 平位に努力した人の手前嫌でも 引受けなければならぬ立場に在 り、然る時は前の軍任垣否の驛 明は益々輕率不用意であつたと の非難は免れないと觀られてゐ

尚議新正

副會頭

といふ要認が高い

さびし

奉

であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。 であり是事とも實現し度いものだ。

客は膨々たるもので果して繰脚し たやちな成績を駆げ得らるゝかと

0

民會評議員會

剣端の満の

蜂谷氏披露興行

鎌田氏令息逝く

結局就任を見ん

聯合賣出

察けが東京では、 は一日から燃品附きで職合大賣出 は一日から燃品附きで職合大賣出 が市民の徹底し過ぎた緊縮振りに である が市民の徹底し過ぎた緊縮振りに である

切めてもの手向であらう

する男

四八次と写真四十圓の物語を働い 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の 一脚間の間に各所で百十五圓除の

別席した 別の前度 別の前度

が蘆島築港起工式

百年の計に非ず

新義州公職者大會において

決議文を要路に送る

本町警官派出所 響電源出所にあつる営め改造中であつた 二本町倶樂部もいよく出來上つたので同所内に移転・藤田田井の たので同所内に移転・藤田田井の

との事である

自動車貨車衝突 乘客六名死傷す 哈 爾 實

哈爾賓初めての椿事

学佐美所長の 学は、所職その他では一行の概 変数を催した、なほ植村査滅局調 を課長は一日來哈し一沿南下した 招宴

赤痢益

二歳から四歳

の幼兒に多い

昭和製鋼所は鞍山に設置するとの脱路なるも若し単質とせば幽が常に膨明せる影高な明きは高が常に膨明せる影響がいまれた。 いたの外の非難を発れず、場では一次の脱路なるま若し単質とせば幽が常に膨明せる幾會均等の精治を裏切り関際信義を傷け永久に依め功を一質に破りの言類度き現内閣をしてした。

何るい

も寢冷を注意

護、高艦民會長の競却で八木艦倒 を招待し午餐を共にすると、協 職を招待し午餐を共にすると、協 職を招待し午餐を共にすると、協 記者の一行が死哈するのでヤフト 字佐美満鐵事務所長は一日支那個 今の薄锌を詠へてゐたが島々溪では大祥十六元と衣服二麓を 支那の溪黄服に全く支那人と同機 の楽をして離くハルピンに來り民 館の保護で日本病院に入院した。 館の保護で日本病院に入院した。

爼

民會長高木氏

音歌館長田舎では一日午後五時から 遊りの結果高木儀三郎館長に株職 正職の結果高木儀三郎館長に株職

一周年記念日南京政府成立

滿紡操業復舊

職工も復職

府の命令なりとて省政府より電命と、右は一日朝突然南京政保護とし名中に関係を稼場せた、右は一日朝突然南京政保護した、右は一日朝突然南京政府の命令なりとて省政府より電命

要のため東部線に向ふと ととを承認した、巡警の脚子は避 を発見した、巡警の脚子は避

一九〇五年から東線に素職してゐ た汽車課の第八區輸送番人パーレ ウ君は引退した、在勤二十五ケ年 で東支としては長年月の勤務者で あつた

呼戻し從前通り夜間作業も開始する に到ったので一旦解雇した職工を 関注文総到九月渡までも質約する に到ったので一旦解雇した職工を に到ったので一旦解雇した職工を に到ったので一旦解雇した職工を

し來れるあのである

資産家の果

首相以下要路を歴訪し

必死の大努力

加世田上京委員より第二報

初巡視軍司令官

政府要路其他に陳情

市民大倉開催後に於ける窓地の各半勝者は之が電行の徹底化にの各半勝者は之が電行の徹底化にの大倉職機製に職情するところのたが更に昨日大要左記の意味をしたが要に昨日大要左記の意味をしたが要に昨日大要左記の意味を

東低の挨拶を述べたる後衛務縣。 上新低の挨拶を述べたる後衛務縣。 上新低の挨拶を述べたる後衛務縣。 共他に挨拶廻りを貸したり金州婦人館長田邊前民政支幣長夫の影別會は二日正午城内敷砂駅

島谷氏送別 二回戰 四 振島 飛木 竹桂 久石 大山 渡小 水藤 堀島 全 帝 村村 野 保井 西田 遠林 野原 谷 林

客が歌きり、温雪を極いたる が歌校講室で大書談長に祭転したる が歌校講室でおいて開催したる を対応の答案があり、温量を変したる を対応している。 を対応している。 を対応したのというでは、 を対応したる。 を対応したる。 を対応した。 をがした。 を である 龍中武片赤中人持小折久山勾勝春 村農岡倉村井京林日保本梅又友 一 一 一 一 回 殿

多数見送を受け 名原前職長は奉天に居住のため一日七列車にて家族職同出強した、 職職には官民多數の見殺りあり程 職職には官民多數の見殺りあり程 でを指上でる等職んなる見激りで

宇佐興養瀬局長倉は一日郷七列車宇佐興養瀬局長倉は一日郷七列車 車煤織公司を観察して宏列車にて 字佐美資源局長官 清線第九回語學般定豫解試驗は來 語。學檢定豫備試驗 語。學檢定豫備試驗 語學檢定豫備試驗 語學檢定豫備試驗 巡查採用試驗

松化江鉄院太海島の東鐵路装場の を屋が全域した、原因は海板を有 するものがは油をかけて放火した。 を屋が全域した、原因は海板を有 として避暑場番人オスターニンを ですが眺壁終墾にては容疑者 のですが眺壁終りになる。 日午前十時質育無し三十二三歳の て目下極力跳入際禁中、右は鉄通日午前十時質育無し三十二三歳の て目下極力跳入際禁中、右は鉄通田外館が襲見された、撫順磐でば の最中を四つにして死陰を同處に別人歐深中の島二日午前八時亦も 放棄したものらしいと

吾学介

日華商共

銀行家の積極的活躍を望む

滿洲取引所長

塚安彦氏談

が乗つてるた響である

私は、新市街が出来たために

小寺等の大物を相手に置りも買ひ 本自田自在に(総対)・ 本自田自在に(総対)・ な全線状態に経ったのである、特 でも年々やりにくくなってある、特 ではない、率天は何の商 ではない、率天は何の商 にあるが支那商人が大阪に行って たものが支那商人が大阪に行って たちのが支那商人が大阪に行って なによりにくくなってある、特 ではない、率天は何の商 に関係にない、本天は何の商 が、日鑑版にない、本天は何の商 に関係していてたる、國際疑 に関い、本で大きな総が、がして ではない。本天統の本天統のである、特 に対して、 なには年々統の本天統のである、特 はこめ全部日本人の手を通ってる ない、本天は何の商 に対して、 ない、本天は何の商 に対して、 ない、本天は何の商 に対して、 ない、本天は何の商 に対して、 ない、本天は何の商 に対して、 ない、本天統の本天統の本天統の本 に対して、 ない、本天が、 のなられる。 は、 のなられる。 は、 のなられる。 のならな。 のならな。 のならな。 のならな。

一方 支売職はどうか、私は 歌氣といふものを今年になって始。 窓大に二十五年住んで支那人の不 窓大に二十五年住んで支那人の不

ものでなければ脚く新市衛まで買 がで求められない除聴発的しい がで求められない除聴発的しい があるのである、現在女那人は があるのである、現在女那人は 行き、それでこそ補別に進出した 意識があるといふものだ、新市街 は便利で無持ちがよかららがそれ

貿易杜絕」 危機に直面す 打通線敷設に關して 平 街

阿片を買ひ求め金の實姉の家にて日知れず悲劇のあまり安世縣にて

歡送迎會

若原前驛長出 本溪湖

主事會議に列騰のため一日第十四年は大連に於て開催の全議部便局・ 関原郵便局・ 松山、山中の三主 開原局三主事出連

来る七日から三月間大連に開催される全浦見本展示館には疾儀かかけるが開る多く、日本側ご子名を新聞る多く、日本側ご子名を那ない。 一十名の招称を受けたるが出連の指揮で定員過剰であつたが最近際でおりたが最近際でありたが最近際でありたが最近際ですり、日本側は効能支票でありたが最近際ですると倫根特許の新聞とは別に社通すると倫根特許の特別に社通すると解析を表している。

東る六日衆銀子後七時中より小野 東る六日衆銀子後七時中より小野 東る六日衆銀子後七時中より小野 東る六日衆銀子後七時中より小野 東る六日衆銀子後七時中より小野 が講覧において撮奏前を儲す由、 が講覧において撮奏前を儲す由、 が講覧において撮奏前を儲す由、 が講覧において撮奏前を儲す由、 が講覧において撮奏前を儲す由、 が講覧があればで入場料は大人二 が表別の組明、ニューカレド ニア・ドナツ河の組明、ニューカレド ニア・ドナツ河の組明、ニューカレド ニア・ドナツ河の組明、ニューカレド ニア・ドナツ河の通い、 一日、 ・フィンの居の ・フィンの居の ・フィンの日の ・フィンの ・フィンの

海濱聚落兒童

ーモニカ

猛練習

今秋大會開催で

七夕音樂會

原

早くも馬術の

した

城

ム者にはやらせずに進まない者を 近って居るが一方やらう/ と云 がで居るが一方やらう/ と云 態めて居る世の中は妙なものだ

の反訴を起した強はよかつたが ありとして降職した前普爾の共同便所は ありとして降職した前普爾の共同便所なく を提出した強に、若し思探派行とあら を提出した強に、若し思探派行とあらいとで告訴した盗はよかつたが を起した盗はよかつたが を選ば、大きない。 を起した強に、これで名を を起した。 を記述した。 を記述述述した。 を記述した。 を記述した。

便尉長は三十H 闘伝した 関長館職に出脳中の山中書職店館。

竹生鳥(管野)田□(秋)山元▲田村 岩並、坂井▲東北 川崎、村 岩並、坂井▲東北 川崎、中▲蟬丸 編井) 温中、岩並▲獨中▲蟬丸 編井) 景で 自、新谷(田中秋) ▲櫻川、萬代坂井(岩並) ▲角田川、(子方長) 長題師範、鈴木 ▲ 附親言 五六) 長題師範、鈴木 ▲ 附親言 五六) 長題師範、鈴木 ▲ 附親言 五六) 長題師範、鈴木 ▲ 附親言 五十

加の大石橋が見本市参

石

橋

変の策をも相 ツリイフエ

エンの後を聞

ふのである

一ンマルヌ會

囘大歐

....(2).....

(三)統治組織圖

を一般に認められたるが如し得るに至らざるも衝次其實力を

外蒙の現

(3)

どうしてあの

に関係してる

どうしてこの事件 軽単術にあらつ

て来た人物があります。その人影は私の姿を見ると、いち早く反響にあたしは不器に思ひ乍ら、そつとにあたしは不器に思ひ乍ら、そつとにあたりは不器に思ひ乍ら、そつとになる。

水用ノチュ色密の表 を申込武治鉄明品見本送小査要 急乞申込武治銭明品見本送小査要 急乞申込武治銭明品見本送小査要 一郡一手販賣元募 一郡一手販賣元募 大阪市九條中通三丁目

いに、安藤婆さんの宅から飛出

案特許 自動車用 自轉車用 利益多大 營業簡單

お有ります。手製の競賞を時け発養を良くし、雲脂が有ります。手製の競賞を時け発養を良くし、雲脂が有ります。手製の競賞を時け発養を良くし、雲脂が有ります。

ローション

▲ 鳥里雅厳藻長官 姓不詳 ・ 世外最近青年新人派 中に在り ・ 世外最近青年新人派 中に在り 本に留學し日本語を解す

日

十萬の市民を有する大都市に於て 小野被は十四五、間も歐米人の經 小野被は十四五、間も歐米人の經 小野被は十四五、間も歐米人の經 人て中流以下の千第に至りては依 の老先生の私塾に通り には依 のを発生の私塾に通り には依

一九二四話電

急乞申込貳拾錢明品見本送小養 取引月末夢定商資人活動之面 大阪市立人族中通三丁目 大阪市立名販賣有業師立る、医子 東京大多縣高田町大路中通三丁目 大大分縣高田町大路中通三丁目 大分縣高田町大路市資人活動家副業可 大分縣高田町大路市資人活動家副業可 大分縣高田町大路中通三丁目 大分縣高田町大路市資人活動家副業可 大分縣高田町大路市資人活動家副業可 大分縣高田町大路市資人活動家副業可 大分縣高田町大路で 大野市名の報告で 大野市名の 大野市名の

○ミッワ鼻病液

能效治主

血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹 答兒、鼻汁過多、鼻出 等兒、鼻汁過多、鼻出

資 なくサビ

他はに

ミツワ歯流液

着入 二十個 題入 二十個

(日曜金)

雨語に通じ又日本を s能 c解れ 症倫に於ける第一人者たり露古 想聽健文筆をよくし其專識現下

ては狡鬼毒きて良物煮らるいの

蒙古の統活上見逃すべからざる一 的間に保有して嚴然たるは変是れ の間に保有して嚴然たるは変是れ が成に於て、亦其威力を斯る機微

その個人を娘の棚に打ちてくれと道られた春日間のまるの女が居ては花子間

であの女が殺されてゐる。あつと 調子戦と牛松とがやつて来たので あたしは素早く暗がりに身を す。あたしは素早く暗がりに身を

あれらがなすず

れど、彼女にはよく分つてゐる。

ために、あんな怖ろしい

は、一階に起ってある出來事を手は、一間に話し、二人とも思ひくくの方は、一門に話し、こであたしは中機をでして一階へ上つて行機に話し、二人とも思ひくくの方に話し、二人とも思ひくくの方に、一人とも思ひくくの方

なる政策の然らしむ

政、内防、登謀部、購買組合の四して用導監管せしめありしも、最

が、年と共に國防施設の充態顕宏 するに伴ひ、次朝に増して行く自 するに伴ひ、次朝に増して行く自 信と勇無とがその方略に攻勢的色 に関い、大朝に増して行く自 號の方路にまで修正されたのであ

戰術的清算

0

人の際繁地既に出られるば、底無し と見て可い。強に先づ之を屈服せ と見て可い。強に先づ之を屈服せ 光でし十分の戦闘をして満出するの政権等から見て、離戦が勝戦を の政権等から見て、離戦が勝戦を の民族性、そ

せ、それから電戦に向へ――と言せ、それから電戦に角へへ一と言い、それから電戦にの、先づ全力を関するを見れば、先づ全力を関するを見れば、先が全力を関するという。

ワルデルゼイも亦この東波西守のっな危險に陥るからである。後職

を得た跳っている。 一般歌は一九一三年春政府の承継 を得た跳び降の大きながの承継

離子散を疑ってこ

ってゐるんぢやありま

職が降りからつてくるかも知れま 気になって仕方がない。どんな災が がない。どんな災が

るものと見ねばならぬと佛取は根状でベルギーを通るとしてもアルデ | 戦機を張るには不足であり、松地であるだけ殴いがっを殺ることは出来まいかい、全

だものかさら言つて夢ねるの

6千戦を奪って逃げたのですよ」

一言つて尋ねるのだつ

渡子は早く

うっ子餅がありとしてあげませたしがその疑ひを解いてあげませ 「え」や 牛松に連れられ

大阪天王寺西門北の辻

特殊流經外用率 はり四五ヶ月以内の心配にもする 海特の流紅草門泰知す他薬で効な で最早手帯の方法なしと悲戦せら る方は一日も早く來院又は大銭送 の大きなしと悲戦せら の大きなしと悲戦せら の大きなしと悲戦せら

化粧用

0

点の

のミツワ石酸本舗

(東京市下谷道) 三の一番) 丸見屋商店









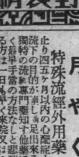






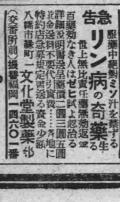


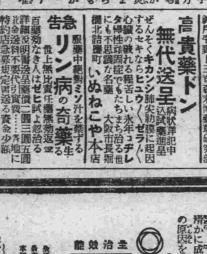




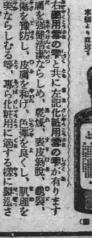






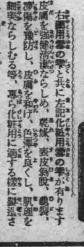






要臭味無く背化陰陽を聴きす。 就者は殿 大したるが故に用量は盛に少くして足り 大したるが故に用量は盛に少くして足り 大したるが故に用量は盛に少くして足り 等の主要成分の含量を著るしく増 等の主要成分の含量を著るしく増















日、英・佛裏養特許の職品結大家實驗推薦、帝國發明協會優等賞受領の設治養の現上料(河合國太郎創製)

施施

入)定價 金三圓







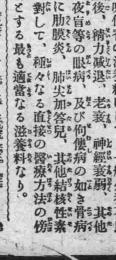




,	成分を最も漫画	京科として、ヴィ	ミンAの名に動すべ	プスの特色▲
の論可人も好を食用するを得	五主音こして類を美味なるが故れ	四小球形の菓子狀を呈し、収扱	て、消化吸收最も容易にして	物を加え完全に乳化を行ひた

文献・説明書並に見本品送呈		キナ及ロヴィタミンB等の強化料を豊富	二肝油の外、有機性の機、カルシウム、鍵、つなる状態に終て含有す	タミンA・D等各主要成分を最も漫写 を得たるの選擇肝油を原料として、ヴィ	からざるは論を使たず。本品は最近特許一肝油の滋養力をヴィタミンへのと願すべ
度 五十 異人 一班 金質圓黃拾錢	用は、用法、其他の評細は深附配明書と以て雙質腐敗の値なし。	た数量性に関うを表の支援を施したる ではまた。 ではまた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(金属の) は、一般の では、 は、 は	では、 使用に至便なり。 使用に至便なり。	リンドン・ランダートン・マスタン 十十五年 こうかん できない こうかんしょう こうかんしょう こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうかん こうか









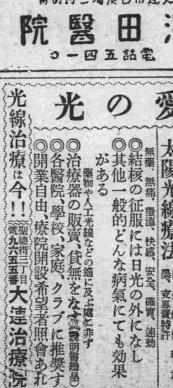
鼻腔内分泌腺を調節し且消炎作用

あるを以て鼻病に確實なる効ある

科 帳 咽 量 且 角町河三堨廣西市連大

AAR LOTION

製田 コー四五部電 澤



○開業自由、療院開設希望者照會あれる ○結核の征服には日光の外になし。 ○治療器の販賣、貸無をな言意問書贈出るがある。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 薬物や人工光線などの適に及ぶ鷹と非ず。 ※ 太陽光線療法

して照射する 墨、文事賣特許
田、英、佛、伊、瑞、加

話 ٨ = 七番

新 荷 御 案 内

(四)

2

語

許ま如に依り

を設く、配もその背繁を穿てるもの。 一般には死をだに避せざる國民ななりと言ず、之れ支那を語り、支部人を以て正義のもその背繁を穿てるものとす更に明治維討後支那に整せざる國民ななりとす更に明治維討後支那に整頓に、一般のあるもその交遊はされたのの時間を開発して正義のは、四千年來の遊ばるの見いない。

では、では、成瀬子野はこの事件とはどんな関係があるのですのいふ人の不採なんですか」

は、は、これは決して間違ひのない事なのです。前にも言った通い、これは決して間違ひのない事なのです。前にも言った通いらあの女を確でから活意してる。ました。――牛松、あの男があののました。――牛松、あの男があの

本邦發動總元祖伏田鐵工所大阪市西淀川區太仁本町三丁目

○ミック養毛液 ***

機斷裁活字

能效治主

して端内兵部の子孫ぢやありませ続はよく分つて居りますけれど決

女の事を私に知らせてくれたのでもに響く働いてゐた事があるのでをに響く働いてゐた事があるので

ない、強い

の話はあまりに奇妙であるの話はあまりに奇妙である

後だつたのですからね」

特四馬力二百圓

芳香精、其他教育を含んで居ります。本剤には本店特製のハブトール は本語を用ひれば效果は一層で は本店特製のハブトール

滕幾久造畵

一 正 史作

を 大阪南瓜新川服権東語 大阪南瓜新川服権東語 大阪市瓜新川服権東語 大阪市瓜新川服権東語 大阪市瓜新川服権東語

脫

毛

開聯

5.56

(132)

優良品案內

多く十一歳にして既に願客の枕席 をいいまして ないまない 女子は婢となり

車し一瞬をも 興へずき

も既へず感常茶飯事なれて死するや乗浴は降

に待らせしめらる、又酷暑の候車 多く十一歳にして既に顧客の枕離

支人の特異性(上)

共産黨の判決

大連市信濃町(市場正門前)

澤山入荷致しました物諸材料品。夏物卓子掛。レース類。籐の製品絨氈。リノリウム。ブラインド。漆器具。家具裝飾器。

小

かれば、それはどんな結果を示され、それはどんな結果を示されたとなる。 ますが、それはどんな結果を示されたといる。

日果次のやうな現象を示しました、野工は三食共に特別米、朝のお菜のまな工の味噌汁が、その登は鑑賞を示しました、明のお菜の味噌汁が、その登は鑑賞をいいません。

版されず、平域しても當然消化吸 を或るものは一大パーセントも吸 をするとのは一大パーセントも吸

がひいては一國の人口食糧間路に 身體が丈夫になる事は勿論、

番具學の教教

イワキ町 新古鷺 の品質質受

食物をよく

日本國民全體が食物を はく噛めば現下の食糧

の結果を職べると、五回乃至十二

先づ六十回職

職 解 510米(1) 51人名 全監索 510米(1) 51人名 所 防 54人の1(十) 10~11人名 下 分 51、51人(1) 51人名 東京 差別 51 東京 21 東京

國民が脱鬱に咀嚼したならば、今な事なく、しかも若し日本全體のな事なら、しかも若し日本全體の

たりが、 大地引揚に付額 を警察但に比額な 性名在社 性名在社

令

京製

加大

までよりもずつと食量を少くして

とい事になります

んだ場合には

用ひて行つたものでありますが、その一日分の成分を示しますと全を素二四、八一六、脂肪一四、三一二、灰分一五、六八六、繊維五一二、灰分一五、六八六、繊維五

即ち五回乃至十二回帰んだ試験のは分ります、次に少く帰んだ際、

杯で濟み

大體吸收率

のが

結果を示しますと

同品同量を

形となって挑脳されます、しかしが、此の中更に脂肪や含水炭素は

れによつて、今まで三味食べたもれによつて、今まで三味食べたも

讓店

京良屋館 電話三九一四番 に爛じます 実濃斯七九 ・大々では倒相談

薬及治療

電話七八九三番

新木丈太郎 電話四六九二番 帰人 病大連二葉町六〇

話入七二二番

御用命は…… 御用命は……

大野商店水部

具糧問題と

事に考へ直してすべての事にあたて最も正しい生き方であると云ふ

大に對し又

:國産品愛用

B

1144

強く事は女の天職であってこれを いまな者へを捨て、家にあつて なっている。

世つてこれに豪加し、撃國一致して男女ともにその大川的の完成に向って働かなければなりません。 此の重大な便命をもつ国民大運動。 のであります。否國産振興。

よつて食事の仕度をし、

子供を育だ

にばそれで事が足ると云

今までのやうに夫は夫、男は

夫は外で働き、要はそれに

家庭の主婦は

れるのであります。

夏の日光 り、海からとつたら建物の影に入り、海からとつたら建物の影に入

題水を拭き取り日臨に休むやうに します、日やけ登院の他紙料とし ては過酸化水素を含むものが最も 際水を拭き取り日盛に休むやうになどには海から上つたらきれいに せん、それから色の白さを以て 中一の一般りとしてゐる婦 人に取つて日やけは殲滅ですが之 を防ぐためには皮膚を日光に直射。 せしめないことはもとより、形が せしめないことはもとより、形が

3



春木和夫

忘れたか になれたか

たよーつ 落ちてゐた

海のゆめ きのふ見た夢

大連市大山面 小林又七安吉

者有質糖は大連案内社に限る電話質権金強低利最近 競生命作險證券に限り金 山縣通市場西門前 唐木

通山大市連大 店支七又林小 第一六一六美化話電 阪 修繕

塵紙 此印に限る 金 の御用命は 電五四三九

[第1] 大洞窟鳳館養夜撮影男女 電話三五八匹番 冩

古憲町 たじまや電六六〇二番 日盛町 たじまや電六六〇二番 郷郷多上 日盛町 たじまや電六六〇二番 郷橋用 さかひや電石四三上

常軽間が 建湯商天 電六八四一 常軽町 建湯商天 電六八四一 常野町 建湯商天 電六八四一

天帆高級純生漉お使紙は

持円順天堂 電話三二〇九番 特田順天堂 電話三二〇九番 ・ モミ大連市 市大連市浪速町 事門のヤナギヤへ

傳家 お

金田は後間の場合は若狭大質の場合は若狭時間で質要なり、大質の場合は若狭時間の場合は若狭いの場合は一大時間の表現を一大時間の表現を一大時間の表現を一大時間の場合は一大時間の表現を一大時間の場合は一大時間の場合は一大時間の場合は一大時間の場合は一大時間の表現を一大時間の場合は一大時間のよりに対しまりに対しているとは一大時間の表現では一大時間のでは一大時間のは一大時間のは一大時間の場合は一大時間の場合は一大時間のますりに対してものものでは、一大時間のでは一大時間の場合は一大時間の場合は一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは、一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは一大時間のでは、一大時間のでは一大時間のでは、一大 秘密嚴守 弊店の特色 貸出勉强 簡便なる

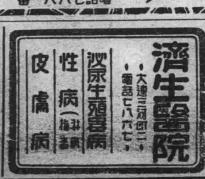






ホネッギ

通勤家政婦 (病科解源)一日一圓 第一個 等澳町五七電話二人公 等澳町五七電話二人公 會 家自













ひそめてるた彼の探偵戦界はスクートと腹を懸けた。其の時後は怪しげな人の氣脈をほの暗い木陰に發見した。影を

た、陰に辟つてゐる彼に取つて彼の妻君は恐ろしい存在であつた

外務 員市內に交ッ 廣き紳士二 事務 員入用但簿記出來得者 小縣通り一九四 吉田 幹行 方用二十二三才这 方用二十二三才这 市田 幹行

電力 不要の電話的金高價質入不要の電話的金高價質入不要の電話的金高價質入不要の電話的金高價質入水費等で大連案內社に限るが有用命は大連案內社に限る。

からだ。

ません、それで海水浴をする場合が、それは一つの錯覺にしか過ぎ

=

はますが、紫外線が强いため色素 しますが、紫外線が强いため色素 でに恰もやけどと同様な炎症を起 を洗機せしめるばかりでなく、皮 を洗機せしめるばかりでなく、皮 を洗機せしめるばかりでなく、皮 を洗機せしめるがかりでなく、皮

ン吉の全身を房にしてあるアルコール分を發散させるためであついが、 は影が以外に目的があつた……それは例の鑑奇趣味ではなく、トは影が以外に目的があつた……それは例の鑑奇趣味ではなく、トリーの全身を房にしてあるアルコール分を發散させるためであった。

な日光の直射を浴びることは却つな日光の直射を浴びることは申すまでもあり

MY 男女o行衛

沙朗

金 八 拾 五 銀 金 十 拾 五 銀 金 十 拾 五 銀 五 十 拾 五 銀 五 拾 銭 圆 金 章 五 拾 銭 圖 金 章 五 拾 銭 圖 金 章 五 拾 銭 圖

古本 顧接型型 で質り 一面通常軽階級千山場電四三六二 一面通常軽階級千山場電四三六二 一面通常軽階級千山場電四三六二 一面通常軽階級千山場電四三六二 一面通常軽階級千山場電四三六二 一面直洋行電五五五七番 一面直洋行。電五五五七番 一面连贯子 電五五五七番 一面连贯子 電五五五七番

チチ

淋毒 性睾丸 鍼灸

満

日案内

古本の国策を強に

合日光のジリーと照りつける。

らればならないのですが、わけて を今日の社會狀態からなへて館響 小國民的大運動に對しては婦人も 地つてこれに参加し、響國一致し で男女ともにその大川的の完成に で男女ともにその大川的の完成に

はすべて女は女なるが故に貴い社會の存在であると云ふ事仕で以て最も重要なものとするのでありますが、その出設

合せて家を整へ、國を起すべきであると云ふ心掛けるなけをはつきりと目覚し、家に於ても男と共に働き、男と力を

避けませら

家庭園藝の趣味 家の健康を生む

海のゆめ

きった際の

商店

向貸家 伊勢町

走つでた

輝がいたの色に

作物を通じて大自然の 妙味を知ることが出來る一

高い意味を持つた多くのものがないふ事なと趣味としては他の娛樂の詩的感情にやはらげられるとか、自然を愛する無持を起させると云 を品い良 店3売人店



緊縮ポスター

當選圖案(小學生の部)

左一二等

ない人には想像の出来ないところの健全さ、明るさ楽しさは郷敵のの健全さ、明るさ楽しさは郷敵ののとないところ 聖德街一丁目一九種下子

小口 にます 名明 大口小口迅速金融美濃町 大口小口迅速金融美濃町 大口小口迅速金融美濃町 金融・中込所能登町親和公司内・対容の五、水島電ニー六七八

習字

である。三河町 * 整理、荷造等一切は ・ 数古寶賞、交換

ラデ オは何でも大勉强 音野町 電話四六二七番 部分品は格安電用品 郷修理 西路優秀品品郷修理

良馬 江庄場馬 ルトクド

電話六八〇六掛

洋脈類舊發 大連正隆銀行裏通 大連信島町西広場上ル 小寺藥局 筑後屋質店

ミア

阪本

トキッ精工会電話川川会

大連常盛檔筋西通至 大連常盛檔筋西通至 大連常盛檔筋西通至

宇宙 の御用命は 音野町 一萬宮 電話七八五九番 大川面 (日本藩画) 占 野東 無対文タイプライタ1印書 柳文タイプライタ1印書 神文タイプライタ1 印書 神文タイプライタ1 音 歳 ま 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一大山通 小林又七支店 神婦乳兒の 御用養婦町五七番地 は新りの御用養に優じます

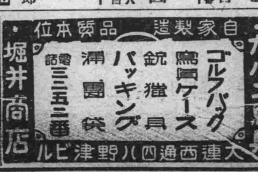
銀条 治療 の場合でも方は創産者できい の場合でも方は創産者できい の場合でも方は創産者できい の場合でも方は創産者できい

の個の通路

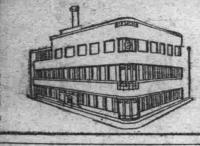








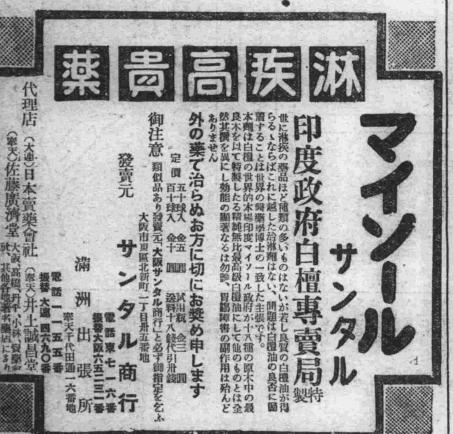




成落築新



年周五十二利創





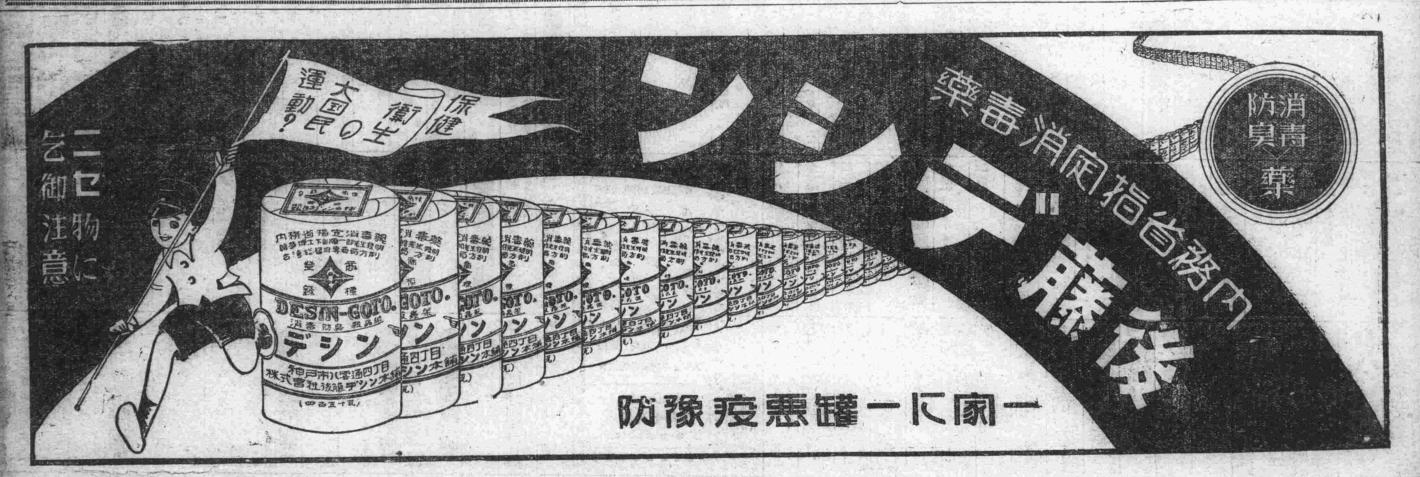


HARDET CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE PARTY

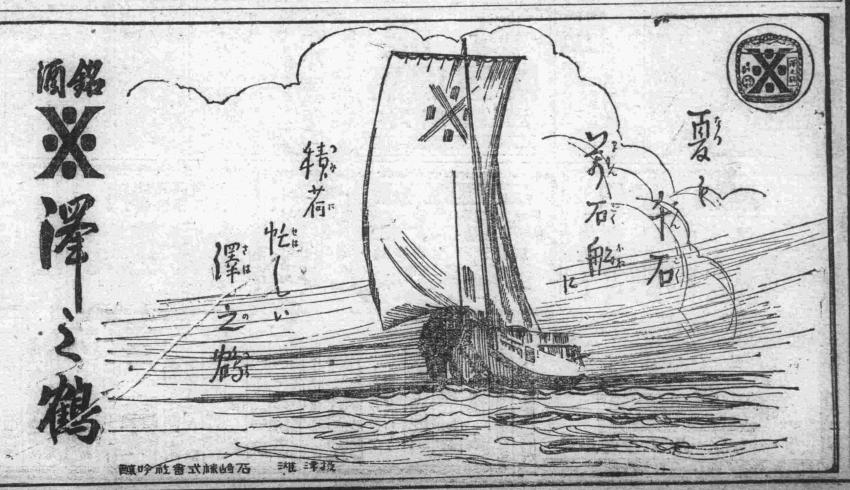


所 肥 製 木 多 盒 类

港府別州播







「ないた小路の戦略には胡藤の北西が 対大小路の戦略には胡藤の北西が 一、三丁もおけば破誕に出る夏家 一、三丁もおけば破誕に出る夏家 一、三丁もおけば破誕に出る夏家 がら がら がら がら で渡は無く、 神流隆地で がら で渡れている。 には の には の には の には の に に の に 。 に の に 。 に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。

報源所州内設置で上京陳徳安鼠に 「大き三日八港のあめりか丸で贈出 にち三日八港のあめりか丸で贈出 したが同氏の上京中「大連取形所 したが同氏の上京中「大連取形所 したが同氏の上京中「大連取形所 したが同氏の上京中「大連取形所 したが同氏の上京中「大連取形所 したが同氏の上京中「大連取形所

後行はれたが會社

くりした氣持で醋電を訪れた肥者無難さにその物膜にあらわし終っかれで廣低した、大低を製し得たかれていたが三日午後入港のあめり

見本市に出席の大勢の人々や りか丸遅れて入港 色んな顔觸れ乗せて 悩まされ

もなさ

午後四時半-雪

(甲)一圓(乙)五十錢(丙)二十錢

党業国球場にて

全英庭球戦

益證當 手 手立立越 金金金金金金形先基金金金

長棚内底郎氏、満鎌郷理部次郎竹中政一氏それに新大連収豫定より避れ午後二時半に至り入港した同船には五品埋事入港の定期船あめりか丸も同じくガスの爲め航行を拒まれ 優勝シーズンに入り前航香港丸も豫定より遅れたが、三日 に促され人方ぶりの雨のうちを た影響だけに、低々な方割が飛んで膨々しい事限りない挑された満洲見本市出席の繁體百五十名、各縣から樂ま 新規事業は の長の呼聲高き商議書記長絃 **中後三時過、ラウドスピーカーが放送する軍艦マー 鬱書記長総崎嘉郎氏、それに谷敷から經理部次郎竹中政一氏それに新大連取**

より株主總會に出席の爲上京中類の經理部次長竹中政一氏は谿一 總裁の肚にある 總會は平穩に終つた 竹中經理部次長談 又曹達灰事業の如きは山本織裁 事になつてゐたが、今既はどう 事になつてゐたが、今既はどう

戦はいよく、來る六日午前九時よ 岡島吉、林勝己 御川原貞夫 間大連市中電壁満頭壁挽較式庭球 川村謹一郎、樋口茂、笠原健三の中心となつてみる本社主催祭ニ ムなった 川村謹一郎、樋口茂、笠原健三川村謹一郎、樋口茂、笠原健三川村謹一郎、樋口茂、笠原健三川村謹一郎、

一の協定をし 、三日午後一時本記書 を期して猛烈智をつい なった、雨電選判は互び を期して猛烈智をつい である。 た、因然本際氏の三氏を行び、種の三氏 神田憲信、渡邊通業、川原貞夫 本語規定、使用ルール、神宮ル 一組宛の優浪職▲試合組敷、十 一組風の優浪職▲試合組敷、十 一組風の優浪職▲試合組敷、十 一組風使用球、丸菱ボール▲天 候、天候疑はしき際は雨軍試合 場にて協議のうへ決定

薩張り知らない

製鋼所運動は今後も持續

0....

篠崎書記長語る

の如し

(東國)

かして當日の密判員は兩軍より

海水浴場巡りの

女小

濁つた水も衛生上に害はない

夏家河子の海岸

行く、偏平な女性的な風景である

海客の便を聞ってゐるが+ 一路の便を聞ってゐるが+

色、黒の大小河童で埋つてとなれば仲々之でも運び団となれば仲々之でも運び団

飛行機駈落の 全の立普通學校を育にな 選に愛見され悪な園鮮を奬のられ ・ 本ク子はその爲男は朝 ・ ルから底順方面へ驟騰れしたが、 ・ 本ク子はその爲男は朝 ・ ルから底順方面へ驟騰れしたが、 ・ 本ク子はその爲男は朝 ・ ルから底順方面へ驟騰れしたが、 ・ 本ク子はその爲男は朝 ・ から底順方面へ驟騰れしたが、 ・ 本ク子はその爲男は朝 ・ から底順方面へ ・ をできる。 ・ できる。 ・ 男女の身元 女は總督府高官夫人 男は同家の家庭教師 れず追つ手もやむなく引き



間には整然たる秩序と秘密とが保 一葉に散在してゐるもので彼等の百名あり二道驚を中心として附近

一の人婦い若 健康増進に **戸外運動獎劇** 各醫院が一齊に

おいまでは、 一年 十一根 祖子が大受けで本年も十棟 殖野が大受けで本年も十棟 殖野 大変に 本語

じられない、平坦た草地、 ではない、平坦た草地、

多い此處はテント生活に してゐると見え毎年キャ

テントを十張貸した。一の数がふえるが本年既に

約二倍 職員で国九十八人に當り、婦人の 職員者が男子に比して ので、そのらち離人は男子百人に 清鑁全社員の約二朝號に楽してあ のが二朝號に楽してある。 のが二朝號に楽してある。 のが二朝號に楽してある。 で脚、たところによると、満 が高級で脚、たところによると、満 が高級で脚、たところによると、満 が高級で脚、たところによると、満 の恐るべき道程を辿る脳疾患に侵 各地の磷級醫院常局者で在城路人 疾に二十歳前後の常き婦人達が兎 疾に二十歳前後の常き婦人達が兎

・・・・七月十六日

七月

の簡易ホテル二階百九號室にその のゝ如く男女は交して ラの内容は 第一次 に於て達成せられ 第一次 に於て達成せられ なかつた日内簡所及び日本警察 なかつた日内簡所及び日本警察 を襲撃し走狗に死刑を斷行せ んとする農村は老幼男女の別な く一齊に参加せよ 電視ビラを撒布したので無終當局 く頭道群村落一帯にわたって不穏 の暴動を策してゐるらし が競見し月下殿軍調査中であるビ といふにある、彼等の一味は約二

六五番

遠

大連市西通り九三

珍しき品、確實なる品、信用ある品、皆樣必ず御滿足の品

電ス語の本 四商 午後一時から満倶球場で 准決勝

くる残さ温は例と

幡製鐵所-實業一囘戰 日本橋小學校—常盤小學校戰 闡

野校訓練となり十二年志願兵としてか兵七十九職隊に入隊し除職を るたが府職務課では操行に鬼角の るたが府職務課では操行に鬼角の をあるので本年三月末京畿道離公 で本年三月末京畿道離公

分異するつもりで飼育してゐるが 職師改正と共に社會課は地方既の 一係に輸小され手が廻らなくなつ であるが蛭や鶏は質数を申めてあるが蛭や鶏は質数を申めるので希望者には 変を現はした菓子の夫某は齢六十 の坂を越して管質上既に渡へを来 してゐるのみか常に出張不在勝ち で葉子にはある種の充たされぬ 解ち

追した、スコアー左の如し ・・ップマン(豪)六――四)三 木 ・・ップマン(歌)六――四)三 木

一四年一本

紳士用

レーンコー

決勝職はアメリカ同志

ツクスドダブルスで三木は窓に版: 東京特電三日製』ウインブルド

定の旅館に分宿した数質業場間の出迎へをうけ夫々所

満鐵社員の

副業獎勵

に映成輸入組合融合理事長はか多を買入れ繁殖したら社員の家庭にぞみは大しやぎであるが上陸と共の職繁駿甌のため、鶏、鶏、繁蜂百五十名楽頭、冠の大連のぼをの「満境駿鰕改正前の社會課では社員でこれら出品者の代表各縣より約」 一社員、會が、引受け

四を社員會に返すのだと 日本の 1 日本の 2 日本の 2 日本の 2 日本の 2 日本の 2 日本の 3 日本の 4 日本の 4 日本の 4 日本の 4 日本の 4 日本の 4 日本の 5 日本の 4 日本の 5 日本の

兩軍メムバー決定す

來る六日北公園滿鐵コー

本社主催にて擧行

くで源を許さない

またも春典動を策し

對抗軟式庭球戰

海峡にの東京が高端に壁で西大門小川は鳥坂縣東伯郡下北條村生れ大台。 鮮支人共產黨員 まん、米、【六――二】人 (佛) ・ 大人、米、【六――二】人 (佛) ・ 大人、米、【六――二】人 (佛)

珍味中心

大連連鎖街

HI COOK

リ紙廉賣

電話五六八五~二二元 花瓶 紙部

內科專門

七圓三十銭より

- 「一」「「「「「「」」」 活動寫眞、演大

速納 凉

七月四日より浪速町に於て

世界の粹を蒐た 洋酒||洋煙草||食料品各種 上元贈答品時價大賣出と 通學用防水マント……」圏八十銭より 抽籤券御買上高二圓毎に一枚 抽籤により五百名夏家河子園 遊會に御招待申上ます 遊會招待 門 **櫻井內科醫院** 先驅として、其の徒命を果すべく更に改善の餘地あり と考察せらる。 と考察せらる。 先驅として、其の表別の湯豪開發の 公正社事業高事部公正社事業高事部 計 討

七月一日より十五日まで

置物

明日活現代劇臺本より

母

を見

生きて行けないのかしら…

使子は少し顔色を着くした。さ で相手の顔を見つめてみた眼を下 で相手の顔を見つめてみた眼を下 が、何の鳴びも遠せられなかった かった。

B

四

月

で云つた。

ら頭をうなだれ、前よりも高い脳

をの言葉は、まるではにおちてる の中で吸かれた。 医子は齎古された齎物の帶の間 足がよろくくとなつた。後女の際 が火としても凝風のざれめきの中 機が火とても凝風のざれめきの中

五

をうる餘りよい御返事としてはないのでして一 こんな事を申し上げないとしては なとしては

選はなほ一勝口願った。 ではなる数を見て大村書店

い窓間に後子は眼を放つてゐた。 大窓には雨がなかつた。その着

世の中の人々は 単問と仕事するがよい

いつだつて同じ事ばか

ると殆ど聞きとれぬ程の挨拶を後

宝二

学のその表情と続乎とで、店 く音をさへ立て、しまつた。 何の叫びも競せられなかった は早くて不明瞭だつたが、然り脳の脚からは何の吐息も費れな を裂くやうだつた。そして彼女はため、 位野ではかってした事のない、 位本の (後子の目から迷しつたこの叫び) どうすればいいんだろ

当りは 満日柳壇

旅順驛前

日の

度候御用命の節は電話一一二番へ

戰蹟說明者

て思はず手に力が入ると握りしめて思はず手に力が入ると握りしめるのに……と思ふ 一匹の鰡に巻の輪を描き 大連 高木 満山 線へは鰮の粉育に支那気分 が順 鈴水 夏山 地間日粉の手で追はれ 大連 渡港木の丸 個次デートも知らず鰡よくたか 部陽線 舟田 本堂 部陽線 舟田 本堂 地打ちに今日も仲よく引づられ 大連 詩 徒 枝

周清

原规

母子窓弄んでる鑑叩かれず 一匹ハ鑞のことから喰ひはぐれ 高橋 月南 大連 蟾富、淀月

筒が落ちた。

九

は沈黙した。そして同時にデーブルのよから倭子の擂いた難枚かのまから倭子の擂いた難枚かのた。然し倭子は手を出さず、身跡さっとしたの然し倭子は手を出さず、身跡が

大村書店

そしてその裏には

桑木奥檬

枚入つてゐる。いつの間に用意して見ると、中には五興紙幣が一

やな南京虫

Mountaine

かうして退治なさ

 ∞

此の品は弊行永年の經驗から和蘭に ガリン』と御指定下さい、 於て特別に精選せしめた品です御求 良の品ある場合御取替へ致します めの節は必ず『オリエンタルのマー て是非各御家庭の御使用を願ひます く其風味亦格別でテンプラ揚油としで溶けない品とは異り少しの臭もな 在來の惡臭ある不純の品やフライ鍋 菓子舗の御推賞の品で

区区四六三谷

製菓用として料理用としてカフェー 乳バター同様デーブル用として好適 植物性硬化油で混合物なく純粹の牛

ーガリン・バター

||阿波共同汽船

大阪商船機式大連支店

果行"海震丸"七月七日等時で定期大連龍口安東線不行。福壽丸、七月四日美時不足期大連龍口安東線

政記 輪船出帆

越茂有純永 政安利利利利 記號號號號號

要な技術家諸氏 工 學 土土 一番土土

野中正夫氏 三雲次郎氏 馬氏 野中正夫氏

九二一商 會

海 着行 大成丸 七月

保・つ。 上:3 候:

大震 は 優秀價 量; 生 K 格 依 0 良 3 は 果にして、偏に顧客諸 に三倍 厚。 以中 申養 上流

簡の〇ミツ 2 品。 n を得

不況は慢性病ぢや

石總裁自取を訪問し左の間答を交にてゐる、記者は麻布富士見町の戦

名醫の診察が必要

俺の注射がきくかどうか判らわ

仙石總裁記者と問答

言るを次

収敢 す各地に 土木事業を 起

地方に野し地方起債の緩和に努めり失業機急策として失業者の多いして差當り失業機急策として失業者の多い 題の解決に力を注ぐ筈である

述べ社会政策委員會において法一

全般的交渉に

近く莫全権に

に訓電

一日夕首

東京三日韓電通」政友會は二日 全開き民政繁の選舉法議会に對抗 で と開き民政繁の選舉法議会に對抗 で と開き民政繁の選舉法議会に對抗

政友政調理事會

政內作平、原循次郎、中村啓次 (東西) 一种 (東京) 一种 (西) 一种

相の手許に於て銓衡中の處左の如改正を見た鐵道會讓々員は江木織 欧正を見た鐡道愈識へ員は江木鐡の大 各方面を

を表表して来る。

取消要求

北方政府に

南方側無關心

▲七日 遼陽到着、第十六師團司 令部、工兵中際、衛戍病院、步 令部、工兵中際、衛戍病院、步 兵第二十聯隊、憲兵分職尚ほ憑 展納骨嗣に參拜し、午後六時半 より官民招待 より官民招待

南京・奉天協議の上 外交然次長は、中間の をした、真線原氏のベルリン行は しばく、個へられるも支那(盤では のでは、 警視廳警

とにてもなって

「東京神電」日発」歌劇廳では七山 千名系統を三分の二の二千名だけ しか界総させず寝る一千名(六十 しか界総させず寝る一千名(六十 国以上)は界総見合せとなつだ。 この不別類時代に激給の警官略 昇給激

のふ起築 **内外要人百餘名參列** 逃工式

九日 公主債騎兵第二十市除、★九日 公主債騎兵第二十市除、守債條司令部、獨立步兵第一大守債條司令部、獨立步兵第一大時間

、十時三分發公主領に前七時三十分遼陽駐剳

本、アメリ 島築港起

会官張摩良氏の特別

学問題に作った記念を は、終って来致より天 一部では、 一では、 一 ▲十日 長春, 歩兵第三十八聯隊 獨立守懶歩兵第一大蛛第四中隊 郷兵分隊、又午前九時半より歩 東第三十八聯隊の演習・尚林、

るまでの經過

▲十八日 九時十分率天發鞍山に向ぶ、獨立守備歩兵第三大隊第一中隊、尚午後一時鞍山製鐵所一中隊、尚午後一時鞍山製鐵所表一九日 九時五十一分發揚崗子に向減終、十五時九分發揚崗子に向減終、十五時九分發揚崗子に向減終、十二時五十一分發明隊、尚任午前十一時將校集會所に官民任守前十一時四十分營口埠頭親に入る、午後二時四十分營口埠頭親に入る、午後二時四十分營口埠頭親

△二十日 十時三十分營口数大石 穩に向ふ、獨立守備步兵第三大 際、大石橋分院、正午大石橋小 學校に官民招待、十六時二十三 學校に官民招待、十六時二十三

來る七日より二週間

政派の國家的重大問題と 各南東の これを超政 初度巡視の日程

か。 不慰無、失難、必ずしも今日 に始まれるにあらず、そこに根本 に始まれるにあらず、そこに根本

大觀小 觀

▲ストプレ氏(在大連獨海領事)
二日午前十一時陽東廳に太田長 官を訪問し新任の挨拶を述べた 官を訪問し新任の挨拶を述べた 関東廳官制改正事務打合せのた め五日歿東上の筈

長としての氏の地位は如何になる。の一般物を正式に下でした。 「東京特電」「自發」任常を推氏のか不明であったが、三日時で指数。 韓劉兩氏膠東の 昭和製鋼社長は 伍堂満鐵理事が兼任

代理陸相に叙位

る事になった

けふ安義で市民大會





提級の五大政策につき意見を研究をなずに決したる後小泉

題

遼

小陽

た、國民政が順でに正・磯、磨三 ぬものと氏の献氏は絶熱不可能と見、而も 読ふてる

表面無関心の態度を

製鋼所設置運動

杉放庵

地盤爭奪に腐心

山西派に秋波を送り

の希響はこの七月の定脚外総であったがこの不意打。外にはこの七月の定脚外に下一萬の歌語にて行はれてあたものであるが不景でによって严く解析器を制設といいであるが不景ではれてあたものであるが不景では、官衙へ転げる者皆無で現職と、官衙へ転げる者皆無で現職といいであるが不景であるが不景であるが不景であるが不景であるが不景であるが不景であるが不景であるが不景であるが不景である。 にかちりついてゐる爲めだと

二井登記問題

一般 南北町の経版と共に山東方面の帰 れに新し郷珍年氏は同様中央軍に大田の地に 郷居する郷珍年町 を得んと離野の地に郷居する郷珍年町 を得んと離野した龍野東の地に郷居する郷珍年町 を得んと離野してるる、目下韓 ともに山西軍に色目を使ひ乍ら好 四五萬元を微鍵したとしかし郷珍 が 総近 に司令部を設けかねてより交遊。 新下孫殿英氏はかつて己の主たる で表示の策略を正しかし郷珍年氏は即では一大変が が を郷珍年氏より郷取せんとし、こ て各派の策略が露音である できょう ないしこともととしかし郷珍年氏はり変数のでさう ないしこともととしかし郷珍年氏はり郷では一大変が で、一大津の様に表にの股版のでさう なりに、一大津の様に表にの股版のでさう なりに、一大津の様に表に、一大津の様に、一大津の本は、一大津の様に、一大津の様に、一大津の様に、一大津の様に、一大津の様に、一大津の本は、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大津の様に、一大津のは、一大津のは、一大津のは、一大神の神の本は、一大神の神の神の本は、一大津のは、一大津のは、一大神の本は、一大神のは

菱刈軍司令官

策を論ぜねばならね。 ・この切迫した失変、不景気を ・で、この切迫した失変、不景気を ・で、この切迫した失変、不景気を ・で、この切迫した失変、不景気を ・で、この切迫した失変、不景気を

職の實伍といへね。

能りに他力本願的の思想ではある まで政府の責任の如く云々するは 要集の責任は脚として、不量氣 まいかる

凉

花莚を求

ある人

●…【東京神の二日蔵】

た、送主はが能へンガリーのブ タペストに住むクルッ夫人であ つた、荷物の中には一通の手紙 とヘンガリーの関情を物語る数 とヘンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 とペンガリーの関情を物語る数 といった。 一部野きな日本 ペニ十年間を致して樂めな品々 で を送るから受限つて覧ひたいし を認められた日数が封入されて

ョンは三百九十

親日女性に感謝の意を

高区線に関る 大連取引 か 七時代ごろ取扱所門前を通つてる か 七時代ごろ取扱所門前を通つてる の 職れであるのを所戴に助けられば ち 糖素が出ない限りは生命取り止め

見よ見學歡迎

必治の

法を實地に

大連市近江町四本願寺

治

に重要を計りには10円山高一といふ人に手紙を寄せ選物の消息を紹介。 に随長を計り協議の結果、陳列 に随長を計り協議の結果、陳列 を開することよなり二日早帳か を開することよなり二日早帳か を開することよなり二日早帳か

ブタベストで日本博覧会が開か したほどの親日家であるが、親 は明治四十年

をに関る 大連収配

リガッ新

美しい贈物

十年掛りで集めた參考資料

に在住し離見知りのになり前、独て

年間、日本から何の ところが、一方クル

現在中込屋 出に及んだこ

等に関する書籍及び解器、刺繍 関ハンガリーの質情を物語をまで新 を変料を期門が、来統師に蒐集 大さなコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃 かったはコレクションを設る運賃

親日の老女教員から

質情を物語る

年間閉じ込められ今

同夫人等を從へられ二日午後一時二十分オックスフォー『ロンドン二日發電通』高松露同妃兩殿下は松平大使。

來る八月十七日擧行

て御食事を擂らせたのち學校内の教會、劇場、圖書館

御到着各大學を御見學ペンプローク大學の學生食堂に

て倒巡電殊に鉄父宮殿下の衛在學あらせられたマグダレ

一般 一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二 一年後一時より左記規定に從ひ第二

□ 保護候補にあげられてゐる
□ 本競技種目 五十米、百米、二百十十十分。
□ リレリ、八百米平泳、三百米メドルの
□ サレリ、八百米平泳、三百米メドルの
□ 等三點、四等一點 一等四點、二等三點
□ 等三點、三等三點
□ ではりします。

あ、三等一監 歌、三等一監 出るリレーー

卒業論文

材料集めに來満

七月の聲を聞いて急に増えた

専門學校級の視察

後四時十五分同所御發ロジドンに御歸還相成つた

高松宮兩殿下

の楽電に各搭乘者勇みたち額川大の楽電に各搭乗者勇みたち額川大

6村金銀町列車に乗込む、七時五十

運輸局長以下の餌が掘って午前七送人と共に登集、鐵道側も久保田

とする内に江木線相が現はれて久 保田局長初め乗称覧に以一覧「充 分比意してやって鬼絵へ」と聴じ 大路を一層繋張させる、軈で午前 な館を一層繋張させる、軈で午前

佐から「関際飛行の成功を育る」」に齎くまで國府津で機関車を補充の來電に各搭乘者勇みたち標川大一分に横灘を出たら午後一時名古屋

列車は音もなく近り出し

後に一路西方に驀進した

世二萬圓

支拂請求

牛津を御訪問

御兄秩父宮さまが御在學の

マグダレン大學に深き御風

をやろかも今は際、それ等の歌士様なら

に九分二厘といふ

以上も就職職線を彷徨してゐるの上線が百人のうち九十パーセント 最高が八十個、それも調べた九十 概だ以で惨めなもので文料出身のが監者壁の被低級なるものが 十圓まで六十八名も占めて脳盆多 行場出發率天へ空中輸送された。 しい、所澤は殺しい快職、総拠、大陸に就いて見ると六十圓から七 機三機は三日午前六時卅分所澤飛 無避つて航空氣象の収穫めに急が最低五十五圓といふのさへある。 率天支那幟に貸興する八八式偵察 以下出場、梅雨期の長距離飛行を順の二十四名、六十四圓の十九名 【東京三日發電通】わが陸軍から これよりさき飛行場には徳川大佐 の二十四名、六十四圓の十九名 名のちちたった二名、お次が七

特銀三 平均率 は六十二関見當では六十二関見當では から大學まで永い歳月からつて一から大學まで永い歳月からつて一人 本二圓だから情ない、更に各種夢 なみの二十圓といふのと 出て見れば食ふや食はずの月給六 番多いのは三十五圓で 出て見れば食ふや食はずの月給六 番多いのは三十五圓で 昨年の六十五圓七十七 奉天軍へ貸與の わが偵察機 けさ、所澤を出發す 着奉は六日ごろ

ける、

わが國交通史上の劃期的な

試みに東京驛大混雜

大 校卒業者九十四名に就を調べてみ 本務員 に就職した専門學 は一層みじめで は一層みじめで は一層みじめで 五川十九名その他で最低は三十七 間の安さである、中東卒業生で一 十順十九名、五十八圓六名、五十

土様なら娘をやろか」 漸やし就職戦線を乗り切つた 幸運兒の初任給は? 門學校、中等學校卒業者に致って 平壌出贸の筈である

まで一千キロを突亡、同地でガ前後には第一コースの九州太刀器前後には第一コースの九州太刀器 は中島操縦、中村中島同乗、五百二十一號は藤田中島操縦、地上屋 二十一號は藤田中島操縦、地上屋 地上屋 である。 一十一號は藤田中島操縦、地上屋 **砂し平堰飛行場に飛び奉天飛行場**

田中大連市長ら

善後策協議

 (Ξ)

する。 一大連市際中央部優市場が田中市長 の策勝されるので、田中市長は大い に設善されるので、田中市長は大い に設まし三日午前八時より急騰が がしこれが善後策の結果館社覧ー制が に設まり、指光市場主任を自宅に対する。 に設まり、 にといまり、 にといる。 にとは、 にとは、



「東京三日經電通」我國交通史上 するだけで無係車といふ素晴しい ・ 大きない、総好の日和に感まれ 見殺り人の無遇ひゃらで大湿態を ・ 大きない、総好の日和に感まれ 見殺り人の無遇ひゃらで大湿態を ・ 大きなが多いので ・ 大きなが 国を融通したが、昭和三年六月ま 手勝で合計三十二萬一千六百七十 手形で合計三十二萬一千六百七十

不敬の船員

日本各地名産

御得意樣

電話 二十四

最

も適當

懲役六ヶ月

二年執行猶豫

おら か大將の 、も新盆

田田田田田

が、田中家では数日前に組 に親族會議

逝いて早くも親親がめ

の離町別取る約十萬圃の僭財の抵込んでみたが、本取る、大將臨終 當といつた具合で、扶助料でどう



西のうへ常動を強したものであると情量を計量され懲役六ヶ月で別

出進に連大

0

B

編本コールズボン付き 編本コールズボン付き を 國製 黒 あ シ ミ ヤ

補寒白本サベル)

金五十八

補裏白高級サテン)

金六十五圓也

(貳百着限り

金堂何でもトテモおいしいものばかり 大連市連鎖海の近かり 大連市連鎖海の近かり 大連市連鎖海の近かり 大連市連鎖海の横線通 を記言10五番

期間中は假縫付

ブ、具、

は子を持つ数の見せしめたといふので三日大連地方法院森本数判長ので三日大連地方法院森本数判長ので三日大連地方法院森本数判長ので三日大連地方法院森本数判長ので三日大連地方法院森本数判長ので三日大連地方法院森本数判長の最初である。

日を送らせてゐるがその主なるもの特別を聞くと急に専門學校級の旅行際を聞くと急に専門學校級の旅行

五日)▲明大 五日)▲明大 五日)▲明大 十一名(十七 十一名(十七

のうちにも暑んでゐる、また大將の清餐だつた證據だと淋しさ

の事理能は故大將

料取りが多いと

に上海で狙撃された直後軍人田中 正十一年フィリッピンからの踊り

薬論文の林

刻まれてゐるが、

自筆の

「田中義一覧」と

遲月 ル 雜誌路 月報進呈東京京橋松屋町一ノ四近江屋書店三年本月運牲誌檜本小設貞創目録:進呈

カを開きましたから御越下さい 常 盤 橋 7 ヤ 電話七一五五番

男女給仕各一名募集 等階第の近出頭あり度し 大連市伊勢町 大連市伊勢町 本月七日(土)午前九 五ピュニュ 四1 二日

車動自枢藍

消淋 渴病

料金五圓也

關東廳職員大連

連日人氣を煽る遞信展覽會

のふは太田關東長官ら参観

だものがらうといはれてゐる

船

し政界に乗出

親戀

取調べ依頼

Â

山口緊急痛歡倫中村宇場出之北藤 行方不明となり、政吉は 風楽的が 手懸しさのあまり職山その他谷方 所在判明するに至り市内日新衛十五郡地谷方 理店標島棚方道へ校門尾黎子が多 の多なからと三日政吉は風楽的が、 子の城友達で多子の所在冬子の 日本の場方を依頼して来た

一度食+thら忘 hosh美味

支那料理

の支機器はを行ったものであるでに僅か三千九百圓を支機は似ので金利を加襲して前配の如き豆織

清貧だつた故田中義一大將 は中野に佗住居

産兒制限

専用順行賞 当けで手切

界各

國酒類

食

料

00

O)

北方

C DAIL

堂何でもトテチお

夏モーニ

-

グ豫約

奉

た湖和高校: つて來る の遺電もあらうと親族までが思ひ義一大將 瞬の持主だつた大將は定めし相當

銀 蕃 時 育 器 器 計 **并森**建 後のである。 後のである。 本と同時に上陸し乃木町カフェーエーエンドラに於て强か略面し がどこが偉い」と罵言を吐いて あるうちはよかつたが、終ひに は異くも不敬に互る言跡を弄し は異くも不敬に互る言跡を弄し は異くも不敬に互る言跡を弄し

た連汽船東端丸は三日午前名古屋 たり入港、 中場頭九番バースに横 が工態日を機職してあった して鰻粉五覧目を機職してあった して鰻粉五覧目を機職してあった

北崎新一氏が認連中である北崎新一氏が認連中である

懲役

二少年に對して

別誂高級仕立 御契約金五圓申受殘金 二囘拂にて頂きます出來、納期御注文後三週間以內 引受期日七月一日より廿日迄【梅印ある御注文書を最初受期日七月一日より廿日迄【梅印ある御注文書を最

大山通り

振替口座大連三 四 三 九 番 電話六六二七・二二二一九番

「じょ、一歳読らやアねえや、油飯にある景剣にかょつてゐるらしい

妙香はきつく首をふった。 しかもその手は帶にふかく秘め

映畵會開催

を見よ

磐城町大日活に於て

七月三日より一週間

讀者階上七十錢階下五十錢

雲天滿草紙

片岡千惠藏主演の時代

主催滿洲日報社

わえ、お飯機、上つておまちな

で、三臓矢鹿に妙香へとびかゝ

Ħ

病

で、亮之助、不眠げに吹音をちてまだ展らぬぞ」

と、妙香は左近かと小腰をから亮之助である。

「あ、これ、三酸、左近酸がどうの層先をうち据へた。

変の間へ連んでゆく。

「ぶッ、 連着な坊主だなアー」

三臓はさすがに顔をそむけた。

ーコー(への四)の處粘ぐ ーニスレー 〇一二五レーニスソーニ 〇一三五レー 〇一二五レー 〇一二九月

00000 三三三二二 九五二七三 カョラカル

五五四四四

蔵は開尻あげてピシリッとそ

やるのよ

おいらずもつといい功績を授けて作ら離職心づらが笑はせやアがる

の態を、常雕でひつくくつておき

-- [7] --

うな手荒なことは止せ、血卍の名式ひつけたかは知らぬが、そのや

「おい、三酸~」 「おい、三酸~」 「おい、三酸~くだった。

(E) 朝

「あクー あク、助けてえー る」
「あクー あク、助けてえー る

河

双手をひろげて枝折月の際へ妙 再びパッと」

この母を見る」

讀者優待割引券

讀者優待割引券 階上七十銭 階下五十銭 で五十銭 滿洲日



特

 Ξ

1 0 白生母里太天 愛示見凌研草

光美よ洋司紙

滿 洲 日

RR

務監督

日週 が、金午後六時より九時治 ソ ス 刺 繍 此件

約店

にんしん 按腹乳の外の一般をマッサージあんばく ハリタマッサージあんばく 天堂は風呂崎

「シ?」 「大臓様御安心なせえまし、左近 「お臓様御安心なせえまし、左近 「お臓様御安心なせえまし、左近

ちてゐた荒職をひろひあげた。 「とうするんだ」というない。この娘をか 第三 社會劇「情の重泉」二場で、火定の豪野まで腰をのばして 良人のために一生を犠牲にする悲いい だっまアあとで入って見るがいい 意とするもの許りで特に社會解した。まアあとで入って見るがいい たっまアあとで入って見るがいい たっまアあとで入って見るがいい たっまアあとで入って見るがいい はの無別」は機れな幾子が無情なた。大定の豪野まで腰をのばして 良人のために一生を犠牲にする思います。

No. resident and residence of

からす組肉豆頭の素晴らし

この母を見る』の一場面(蛤蟆



日限り沙河口戯場に出演することの戦略が河部大連愛好者のため明四日一が西部大連愛好者のため明四日一が西部大連愛好者のため明四日一 沙河口で開演

うといふ心配筋が大力を

絡放送 東亜特作現代映畫花物情話 葉·市川幡 宮城直枝共演

御屋け致します 一路 店 でも安くく〜賣つて居りますでも安くく〜賣つて居ります。 四 二 十 鉄 三 間 二 十 六 銭 十 六 銭 十 六 銭 つて左三軒目 Ξ

質の本の位の 世 元



さがつてきつばりと云った。 妙香は何となしぶきみな邊りのちきお闘りでございませら」 「さ、どうぞ、お上りなせえまし 左近線 てえ奴でな」 「おい三酸、うるさくていけねえ なてるほどこいつア気

一元い!」 「ほう! 罪なことをしおる!」 「ほう! 罪なことをしおる!」 「客にか? どなた?」

つたら、三臓が、しかもどうした。 これでんだ、いやに騒々しいと思慮へヌツと離を出した鏡膨、 亮之助は耐へかねて注意した。

大連劇場に開演中のモダンコメデス 一青島座村郷富子は今三日より左の如く三、四日の二日間三の控り 第一 喜劇「隣の御恩」一幕第二 教訓製「卒業證書」一幕 大劇の二の替

> 態よ今夜から この母を見よの會

『風雲天満草紙』と大日活で

片岡千恵巌の 滿草紙 公開決定

二日より超超時



梅村蓉子主演

此の母

鏡開放器が

門共二十

大日本麥酒膏社特釀 電話代表五 (白瓶)

演主子妙間久佐・子合百英・子かた江入・子久花瀧 紫霧端端

。たしまに死は母の兒の此・ 。すまりなご母の二第が妾 ●し同ご母の見の此で處何時何又もし妾しかし

…いき下てつやてつなに·母の四第·母の三第かうどが様皆は時のそ。んせまれ知もかる陷に命運·

演主滅惠千岡片作原三津味木々佐藁グンキ誌 篇前書映代時作特ロブ藏惠于活日 演助鈴十五田山・子燁久竹・生彌上川・治文小川市

・卷拾篇意の點萬趣興・史生半劍義るゆ燃に血の郎八平鹽大人義るあてつめしせ狂熱を者讀の萬百グ

塚龜太 (161)

生膽

井上 太市氏 七月一日より

株育文郎所取 会本育文郎所取 大野郎原作 大野郎原作 本

暗示ではありませんが かり、それはなって自殺せして自殺せし

あまりに生々しい現實であり現代社會機構のはし母の悲惨なる末路の物語りです、若い美くし、路頭に迷ひ、あらゆる就職への努力も空しく

現代に生きんとする女性よ〇〇を んば死

本により明かなる如く見本市の 開催は生産者、商人双方が中間で 職事を以て品質と僧称の有利な収 能をなすことを可能ならしめる。 また先物の大量取別を目的とする で態供を圓滑ならしめ、整造製 を情に抵供を回滑ならしめ、整造製 を作して一定の生産計量をたて、 を情に抵供を回滑ならしめ、整造製 をされば身本市が谷園に於て素晴ら

れして後期することを除さ 満州見本市の勝來につい

雜觀的批評と希望

市

期一分三厘、下平期九分四厘減 、工業會社の利益減 、工業會社の利益減 、工業會社の利益減

機關設立協議會

内地當業者や當地委員が

三日間大連で開催

一本年五月末清貨は一割一 昨年六月末

何**到き不振** 全國國際五月までは七百十四萬 公年五月までは七百十四萬

本年一月以降五月までは五割九 大田年一月より五月までに比し 大田年一月より五月までに比し 大田年一月より五月までは五割九 大田年一月以降五月までは五割九 製油原料檢査の

「東京特電三日登」東京商工會議「東京特電三日登」東京商工會議 大信用取引不振。手形 交換高三年六月以降、四年五月 と四年六月以降五年五月以降を 上四年六月以降五年五月以降五年五月以降五年六月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年五月以降五年百萬圓、輸入八億二千二百萬圓、輸入八億二千二百萬圓、輸入八億二千二百萬圓、輸入八億二千六百萬圓、輸入減少率二割六分、輸入減少率二割六分、輸入減少率二割一分六厘。 東京商議調査―

田超減四千六百萬弗、英處は輸出、超減四千六百萬弗、英處は輸出、超減四百二十萬磅)

「大年五百九十名、五年四月三十七萬二十五百九十名、五年四月三十七萬二千五百二十七名、比較增加十二萬三千五百三十七名、比較增加十二萬三千五百三十七名、比較增加十二萬三十五百萬圓一、貯蓄力減少。各種銀行郵便貯金金錢信託、郵便年金行郵便貯金金錢信託、郵便年金行郵便貯金金錢信託、郵便年金行郵便貯金金錢信託、郵便年金行郵便貯金金錢信託、郵便年金行郵便所至金錢信託、郵便年金行郵便所至金錢信託、郵便年金行郵便所至金錢信託、郵便年金行郵便所至金錢信託、郵便年金

百萬圓滅、利率六分四厘 八千五

本情準備高 四百五十萬圓 四百五十萬圓

中込み少い ・ 一連りないので設立の選びに至ら に楽しないので設立の選びに至ら に楽しないので設立の選びに至ら

東京三日發電通 最近日級の 一度東京三日發電通 最近日級の 一度ので最近國民政府は金の流出 たもので最近國民政府は金の流出 たもので最近國民政府は金の流出 たもので最近國民政府は金の流出 してゐるが順者共領域際 の職出を繋止した。 の職出を繋止した。 ので最近國民政府は金の流出 ので最近國民政府は金の流出 ので最近國民政府は金の流出 ので最近國民政府は金の流出

見本市より國際的見本市の域に入 五口の相談會 大連五品 反説所では二日 製肉理事 大連五品 反説所では二日 製肉理事 大連五品 反説所では二日 製肉理事 大株主有志と會見し減資整理に関

比し五年五月の下落率三割四分

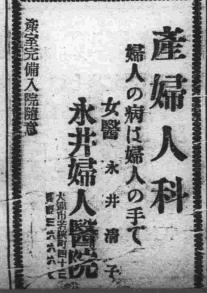
ある

にしても満洲

171100 17 1111本0













(四)

募集が頗る困難

よ、郵股利下げは中西工製資金 として質行するとのことである が現在のやうに融資を件が顕重 であれば何ら有別な結果を期標 であれば何ら有別な結果を期標

億

新經濟政策の批評小泉遞相の献議せる

菊本直治郎氏

年上代が満出高は百五萬なつた。而して金輸出祭 303 南京政府の

B

この不景氣を見よ

常然なすべきことであらうと思

数字上に現はれた實狀

月

白石元治郎氏

信を起せば出来ると思ふが今日 の既衆不深に當り民間から四億 に到底不可能と思ふ次に國際無 は到底不可能と思ふ次に國際無 は到底不可能と思ふ次に國際無

七

業界方蔵の意見は左の如くである

隔し就策をなせることは既報の如くであるが、

右に闘し鷲

は総制なるかも知れの抵電 は総制なるかも知れぬが、 電話の普及と失業教派の を選別、電社の普及と失業教派の を選別、電社の普及と失業教派の を実験運行してこの不景源の際果し である、いはんやその利益を を選別では資本物は容がし得るや疑問の内政府の を変別運行につき疑問があるや をの場合に関係をして を変別である、いはんやその利益を には選ば容易に出資ととなった。 を対応である、いはんやその利益を にはがあるや をの場合に関係の を対応であって、 があるや はは、 には、 を変別に対して を変形に対して を変形に を変

滿鐵消費組合

撤廢論は否決

共同仕入機關設置と輸組提携

經調委員會で纏る

年

五

「東京智能二日發】小泉遮相は二日の脱談に於て現下の財政、 不況に際し能繁擬與と國民負擔の經滅は重大なりとして自己 所管内に於て财界の人心作興に審與すべく 、電話擴張促進に關する件 、明見保險實施の件 、中見保險實施の件 、中見保險實施の件 、中、電力統制に關する件 、中、電力統制に關する件

大豆强調

一一大二〇二千枚

▲東短前場 →東短前場 →東短前場 →大阪現物 一十九圓

奥地市况能

綿糸布(低落) 米棉保合、大阪 密小一側安と弱保合、引け更に各 限一側六七十銭安とデリ安を入れ たので小口の買物ありたるのみに て大手筋は見送る

商

X外內

愛らしい形・高雅な色・ゆかしい香

印刷

オフセット

活版。石

版

(日曜金)

小東亞印刷能式大連支店

醫

TLOU!

品質本位の地球獅子牌

大連市近江町

章 話 一大八九四

込所

有

朋

堂

登録

亞鉛以平板

-

特價版會

膾炙してゐる。
▲古典文學の理想的覆刻として『有朋堂文庫』の名は夙に人口に 募集

其他色色

特專

許賣

寒防水覆布

クルックス・レンズ

大連三九五0 三敷之

▲善書普及の意味を以て曩に天下に提供した所の特價版六十册は

▲依て今般更に残り六十册と併せて全百廿册の特價版を提供する

する。

運送 自動車

產

服服

女男

大連市連鎖商 東話代表セー〇一番

機造一計算一體定 宗像建築事 務所上記:宗像主一

▲詳細内容見本を御請求下さい、

好機は逸し易い、

而も

y 會 切費

期一

七月十日限り延期 せ一圓 申込金 一組一

ぬ圓

一たび逸した好機は二度と來ない。

て、益々その悠久の美が輝く。♪

▲斯くの如き至便有利な提供は、今度限りで、

絕對に繰返す事を

に選擇が出來る

他は十册以上に限り自由

献式 會社 大連市監部通四十九掛地

與子孫孫也

東京城外路

亞鉛引浪板

稱 東 三 城外 東 三 丁目 町 街 街 街 街 街 街 街 街 街 街 街 街 街 町

時被の完全なる

ジュラツシア蓄音器

所張出店支

一六六 五二一

金金 壹億圓(全額拂込濟)

積資 立本 室服 内家 裝飾

844

目 品 → 付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真鐘鑄物、酸素瓦斯 一 汽罐、 汽機烟突、各種機械類、設計、製造、据 電話二 →鐵橋鐵桁、 社式

作所







絕對人工着色を施さ 清凉飲料 T 御贈答 に

ざる衛

最

適

宮內省御川選 タンサン 株

根本を究めよ

記念

念晚餐會

北方政府組織に關し

馬氏は閻氏に

積極的準備を開始す

周年の

首相官邸にて開催

の歡迎を兼ねて

首相で會見後の總裁語る

黨本部で祝賀會

代表を派し意見を求めた魔、應玉「極筋蜒帽を始める事」なつた「北平二日夏電通」艦艇山氏は北「群氏は一切を艦線山氏に住すと赞「北平二日夏電通」艦艇山氏は北「群氏は一切を艦線山氏に住すと赞

所南奪還の

叩令を發す

将氏軍事會議を招集

鐵道省の

減收豫想

四千萬圓程

度か

兩院議員三百名出席

各關係大臣が會合し

最後の断案を下す

中島、戸田廟首相秘書官等も列席を着にピールの満を引き「殿陛下を着にピールの満を引き「殿陛下を着にピールの満を引き「殿陛下

場合により満鐵側からも参加

製鋼所問題色めく

政府を極力支持して

準備整ふ

「東京特電三日発」不出無時代の がロメーター独道省の貨物、旅客 がロメーター独道省の貨物、旅客 を前年度の同期實績に比較すると 旅客減收 三、九一七、三三七 貨物減收 二、九一七、三三七 で、カーカー、〇四八

政策實現に努力

冨田幹事長の聲

山西軍さ

激す

早く片附ける

總裁さ記者の問答

失業問題の對策 増加の原因こ

ツにおける

ければ産業の負債を益人職では失寒問題の輸決とはならなは失寒問題の輸決とはならな

去る六日

いつてゐる

イツ政府の失業者減少跳気は大去る六月五日の脱酸で決定した 大 東の被像器(四パーセント方列下 東の被像器(四パーセント方列下 東の被像器(四パーセント方列下

である、今年に入って一日から今日までの成績では貨物の出婚りは聖変が下火となったため昨年に比野歌が下火となったため昨年に比野五分を滅じ封鎖されて聖製してある。第二千帳に塗してある。第二千帳に塗してある。

中 央 (5774 3.868 8514 陪部僚 (3353 管業所 (5263 四 部 (9321 管業所 19601 大タクの 電話番號

旅大の日程



青州依然危險

達阪町 (5502) 表 (6557) 若板町 4515 在 15 四縣通 (7841) 出張所 (8935) 星ケ浦 (9121) 出張所 (929) 旅 和 523

戦吉林に騒低した。

張作相氏歸任

包高 型 出來高 一車 出來高 型 出來高 一車 出來不申 出來不申 上 出來不申

吉林民政廳長等視察の結果

問島に警官増員

勤續從業者表彰

電氣協會第二回總會

林奉天總領事說有力 他の一名は社員より拔擢か

ラブルが多いの見本市においの見本市におい

を濱口首相に進言

定事項

職人及び輸出の禁止 の関際係約並に同係 に関する件 関する件

共同戦線を張る

無産各黨が運動開始

の府は實際家の意見を聽け

がならぬ」と根本的版政練点 を確立を進言し機口首相も慎重に を確立を進言し機口首相も慎重に を表示である。

官訪問

選擧棄權防止のため

投票場増設を決議

明年の府縣會議員選舉から希望

民政黨革正委員會

は十一時代離去した

酸道始まつて以来の不振記録 の大減収を課題さる でこの分では今年は四

時兩間理

兩端鐵理事の勢務時間

日華商共

疲弊

銀行家の積極的活躍を望む

手塚安彦氏談

をあったには深瀬な不根無に因ったの一方には深瀬な不根無に因って大部分は依然普通

正に食家の大洪水時代を現出せん で住宅戦を喰つてゐた奉天は

としてゐる、而も此の現象に直配。正に貧家の大洪水時代を現出せん

豕賃引

下論擡

增)

一割程度引下が妥當

に支那商人の鍼内引揚げの爲め空

自動車貨車衝突

哈

爾

賓

乘客六名死傷す

時代に善處指導するの

新陣容に就いて虚心坦懐

いことであらう 観手サドコフスキー、 哈爾賓初めての椿事

家は日毎に増加し町によっては二 製鵬によって在率減緩人の他地に 製鵬によって在率減緩人の他地に 返還した代用社宅二十餘戸に遂し て今年中には八十戸位ひ返還する の人国を築き大脇ぎであつたヘルの人国を築き大脇ぎであつたハルで、一時は交通規製な箇所だけに黒山一時は交通規製な箇所だけに黒山であり目眺車はレールの下駄に木端をあり目眺車はレールの下駄に木端をあり目眺車はレールの下駄に木端 電傷生命危態、六名は人事不省と 郷人少女と外一名が即妃し四名は 郷人の女と外一名が即妃し四名は を招待し鸚鵡宴を催したが、來る 識、高概民會長の変むで八木総倒同夜午後七時から矢倉にて加藤時 肥者の一行が來哈するのでヤフト

手の責任か目下取職中である。 避暑家屋に放火

日午前十時頃首無し三十二三歳の 日午前十時頃首無し三十二三歳の 別人際数甲の處二日午前八時亦も では 別人の表が殺見された、無順響では が殺見された、無順響では のの方の首無必能

露天掘ボタ捨場に 亦も女の首無死體 不義の男女を成敗か

を競見、常局は近米の命経事としの長中を四つにして死體を同處にの の長中を四つにして死體を同處に 職力会能変別大將は初度遊園東取司会能変別大將は初度遊園東取司会能変別大將は初度の語ない。 一世の大学を遊聴して七日紀行で来遊、直ちに断る向を能行社に揺き新伝教・取練理事解 を通過し、八日午前十時三分類列車で

小寺等の大物を用手に置りも買ひ 水自由自在に翻弄するに至って、 我が大小特麗商は今日の如き燃め な全濃狀態に陥ったのである、特 でも年々やりにくくなつてゐる はじめ全部日本人の手を通つてゐ たものが支那商人が大脳に行つて たものが支那商人が大脳に行つて たものが支那商人が大脳に行つて たものが支那商人が大脳に行つてる を表されるやうになる、國産製

吾等町

36

は後 支那人が大理と直接で

本は、新市街が出来たために 日本人は支那人相手の商賣に大き た擬失を受けてゐると想つてゐる

を言民合城の黎天湖線職が出来る も言民合城の黎天湖線職が出来る も言民合城の黎天湖線職が出来る 物を仕入れるといふ器である ものでなければ験々新市価をで資素さかるのである、現在女那人は 行き、それでこそ満洲に進出した 意義があるといふものだ、新市街 だけ家質も高く生活数や經常数も だけ家質も高く生活数や經常数も

別の概工語がひかた 人 究情が発来、 を 指 臓・すな 此の

危機に直面す

平

H

打通線敷設に關して 政府要路其他に陳情

聚島 飛木 竹桂久石 大山渡小水藤 堀島全 谷 村村 野 保井西田 選林野原 谷林

車機機公司を勘察して五列車にて中の権村、網限事務国は営地に下中の権村、網限事務国は営地に下中の権力、網限事務国は営地に下

本調・ ・ 本記・ ・ 本調・ ・ 本記・ ・

多数見送を受け を指上でる等略んなる意識りで 火を指上でる等略んなる意識りで

新低山内代方蔵を監訓が低の総割の大大者任 挨拶 く

牧島氏送別會近く離離社院する蜂島喜三島長のために市中個有志は米る五日午最ために市中個有志は米る五日午最大時間との歌を棚上野、前野金四個富日棚が駅の歌を棚上野、前野金四個富日棚が駅の事、出版都球者は街工館を開いるれたに申込まれたし、近れかに申込まれたし、近れかに申込まれたし、

帝は家々たるもので果して登場 ・ 一番は「一寸悲観の態である」か

事其他在哈知名土有志少數で所長の難返宴を催すと

遠山滿

本の記念典 ・世報に高線 ・大條二十一四日は西二條佐本・大條二十一四日は西二條佐本・大條二十一四日は西二條佐本・大八日東二條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東二條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東二條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東二條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方に東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方と東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方と東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方と東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方と東三條 ・大條二十一番地、出口幸吉方と東三條

大国 する者の表が重まって漫談に助ふ 社会係の手で設備してやる必要が 大国 ないと云ふのが要求の理由 本区配 合せても此の方が急務だらう 本社 した から考察すれば共同的に配も販拠 会保は婦人会や處女館の後援より で、 大田 を で、 大田 ないと云ふのが要求の理由 本区配 合せても此の方が急務だらう 本社 を で、 大田 を で、 大田 を で、 大田 ないと云ふのが要求の理由 本区配 合せても此の方が急務だらう 本社 を で、 大田 を で、 本語のとなる 本田 を で、 本語のは、 本語 を で、 本語 を

居留民會にては三十日評価員會を 時である場合と會員外のもの人使 用には料金を贈高とし民會財源の 用には料金を贈高とし民會財源の をであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 がであることを可決し神、機能 日に延期すると 日に延期すると

者屋安部を創設したがその記者屋安部を創設したがその記者屋安部を創設したがその記事を迎へ五、六の両日新公で披露頭行をなすと

百年の計に非ず製鋼所の鞍山設置は

決議文を要路に送る

結局就任を見ん

聯合賣出

副會頭

行掛りを水に流して

察日町を中心とする隣接各町商店 は一日から製品附きで職合大賣出 しを開始し大々的に宣應してゐる が市民の徹底し過ぎた緊縮振りに でしてゐる。 では、一日から製品附きで職合大賣出

助け下さい」と一日午前九時頃民 会に鈴木理事を訪問して施粋を願 出た男は沖縄騒島尼郡生れ浮原康 する男

ロハ飲と窃盗

初蘆島築港起工式

遂に速

3

新口商称総司では二日曜行の街道 こと、なり同会執行委員孫高山氏 こと、なり同会執行委員孫高山氏

切めてもの手向であらり

本町巻三日派出所 戦官派 の 二本町倶樂部もいよ (出來上つの 二本町倶樂部もいよ (出來上つたので同所内に秘郷し藤田田井の

との事である

早くも馬術の

今秋大會開催で

七夕音樂會

題めて居る世の中は妙なものだ

原

會の保護で日本病院に入院した。 では北郷を披掘してゐる間に阿片 江 本病院に入院した。 雜組

赤痢盆

四歳の幼兒に多い

報じては特温整官県校の関東線にては特温整官県校の関東線にては特温整官県校の関 よりも寝冷を注意 北行の豫定であると
民會長高木氏
副會長林氏當選
正選の結果高木儀三郎館長に構造を開催

一周年記念日

滿紡操業復舊 職工も復職

職設備がないから臓療性の 中の青年融減器内にデニスコートの青年融減器内に同等の最外運 中の野年融減器内にデニスコートを新設して異れと の要求があった▲セークの要素があった▲セークの要素があった。 府の命令なりとて省政府より電命体業した、右は一日朝突然南京政体業した、右は一日朝突然南京政策本公司は熟れも

首相以下要路を歴訪し

つた

必死の大努力

加世田上京委員より第二報

育し頗る 脳大を極めた

主事會議に列席のため一日銀十四部原敷便局様、松山、山中の三主事は決渉に終て開催の全議郵便局

世界的ペーモニスト佐藤秀勝氏は東る六日来銀年後七時年より小阪本の六日来銀年後七時年より小阪大衛野が限主催で大場科は大人二十銭小人十銭流髪ブログラムはガイルがの船野、コーラムはボルガの船野、カーリーを大コーラン・ファットナラ河の海、東南の大田、大田の一般、カーリーを大力の一般で大力の一般で大力が、カーリーを大力で大力で大力であった。

獨奏

四、五四日開催

加の大石橋が大石橋

山中郵便局長歸任

大館は一

ワルデルゼイも亦との東攻西守のっな危險に降るからである。後繼

までには相常時日の除浴する。 しめやうとし野を清めて退却する の際独手段に出られ、ば、底無し を傾け截して一般に佛敬を演説さり、 を傾け截して一般に佛敬を演説さり、 を傾け截して一般に佛敬を演説さり、

间大歐

戦術的清算

0

▲ 手エルガルント長官(海科布多) 此外最近青年新人派でに在り 此外最近青年新人派でに在り

(一)マルヌ 宮戦(意)

発売了し十分の縁結をして進出する 出つぞの交通網、その民族性、そ 出つぞの交通網、その民族性、そ

◆ 大道 ・ 大道 ・ 大道 ・ 大力 ・ 大

文を作る亦一部なりしを以て代の官壁は陽楽なりき、從つ代の官壁は陽楽なりき、從つ

B

(四)

2

語

は 対関行動立する は 内のこと

い闘るぬは

近い その中には、否定できの話はあまりに奇妙である

海子は力強く排へつけるやらに、

本邦發動機元祖伏田織

○そりり養毛液 大日

能效治主

伊滕幾久造畵

川亂步

脫

毛

劑監

督

(132)

たのです

特價工学三馬カニ百五十回

芳香精、其他數劑を含んで居ります。本劑には本店特製のハブトールす。本劑には本店特製のハブトールで、本劑を開いれば效果は一層で

選子は力强く押へつけるやらに、 ていょえ、これは決して間違ひのり、あたしは例の海内兵部の事件から治癒してみからお癒してみ

大の事を私に知らせてくれたので宅に暫く働いてゐた事があるので宅に暫く働いてゐた事があるので

新野 別 機 新 表 活字大小多數標等在庫增設及開業に対必で左記へ値照賣を乞ふ好出合物値好次第特價報カタログ送合物値好次第特價報カタログ送合物値好次第特價報カタログ送

野策を論ず

明人は多く支那人を以て正義の所ようん。 一切、て語る所あらん。 一切、て語る所あらん。 一切、大学学校、大学が支那に変して正義の 一位、自己の姓名を書し得るもの をなり、東京がよれたるの見歌にあるもそので記を以て返する、近天の時代を対する。 をなり、自己の姓名を書し得るもの のは其年代、書信を認め得るもの のは其年代、書信を認め得るもの のはままた。 書信を認めてい、四千年水野飲されたるの見歌になり。 は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの は、自己の姓名を書し得るもの

本れ 機選等 (本) を (本)

大路上に倒れて死するや乗るは除車し一顧をも関へず感覚茶順事な な降き

北大山通 S M 生表る十六 1大山通 S M 生表る十六 1大山通 S M 生養 謝いたしました、わざく / 切手迄貼がりて送り下され重々恐縮いたしました、わざく / 切手迄貼がりて送り下され重々恐縮いたしまま、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのしず、一寸した不注意から落ちたのとす。

重要搭載のみに置くに至りしず、といいの要なものなるも、他一に、是一面製造を動行したるに依るものなるも、他一に治政の要領を會得し最早期人が明らず、要するにとを動きしたる結果なりと言ふを間にので、要する程度に達し外蒙政府の援助を待った。と対し、と感じ来れるものと判し、といいのと対し、といいのと対し、といいのでは、これのでは、 はしてでは、では、水瀬子の部はあまりに奇妙である。 では、では、では、成瀬子般はこの事件とはどんな陽係があるのですのい。 かん人の子様なんですが」いふ人の子様なんですが」いる人の子様なんですが」として脳内兵部といるのですの子様がます。あの人の血さればはよくかつて居りますけれど決か。 どうしてあの戦、容単衛にあらつに関係してあらつしゃるのでせう に関係して

大に逢ばうと思つて出かけました。 の方から春集街の角窓くると、ふの方から春集街の角窓くると、ふれまなの変を見ると、いち早く反響のの方向へ逃げて行つて了びました。 あたしは不報に思ひ乍ら、そつとあたしば不報に思ひ乍ら、そつと

大阪市很速區留帯り一大阪市很速區留帯り一大阪市根速區 新担 新担

利益多大營業備軍利益多大營業備軍利益多大營業備軍用自轉車用自轉車用自轉車用

おきつり家庭等中の競手をとれて記頭を用着水

ヘーアローション

外蒙。現狀

(3)

ないの特職を対域せられ網索に他の防衛の所謂が1・ペー・ウー は機関なるや超然網索が開発し、イー・ウー

●男女を開はず商すある人に告ぐ 収益確関なるし電行務ぶが如し 取電希望の方は往復ハガキにて 至急申込れよ

鼻腔内分泌腺を調節し且消炎作用

あるを以て

鼻病に確實なる効ある

○ミツワ鼻病液 はなのくすり

水田ノデン色密の素の水田ノデン色密の素の水田ノデン色密の素の

を一般に認められたるが如し得るに至らざるも漸次其質力

一九二四話電

大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大戦治線石切停留所西ニナ大が震音も分離方と、繁質も分散である。

能效治主

は、 ころとも思ひくの方に、成本すと子供の酸したので、向ふでは無好く電がりに身をするたした大いで、向ふでは無好ので、向ふでは無がつきませんでしたが、あたしだけはへりせんでしたが、あたしだは無好く電がりに身をするためでしたが、あたしだけはへります。ころとも思ひくの方に、成本は、一般を疑して二階へ上つて行い、成本は、一般を疑して二階へというとも思ひくの方に対する。ころとも思ひくの方に対する。ころとも思ひくの方に対する。ころとも思ひくの方に

「田良さん、あなた何を考へてあらつしゃるの、まさかあなたは成瀬子酔を疑つてゐるんぢゃありますまいれ」 でまいれ」 でまいれ」 でまいれ」 でまいれ」 でものかさら言って暮れるのだつ

遊さんのとこ

そのあまり奇怪な話にいる。からくべき物語りだらいですよ

の要素を使います。 の要素を使いますが、 の要素を使いますが、 のの要素を使いますが、 ののででではベルギーが、 ののででではベルギーが、 ののででではベルギーが、 ののででではベルギーが、 ののででではベルギーが、 ののでででは、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 のの方面ではベルギーが、 の方面ではベルギーが、 の方面ではベルギーが、 の方面ではベルギーが、 の方面では、 の方面ではベルギーが、 の方面では、 のっでは、 のっで、 のっでは、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のった。 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、 のっで、

化粧用

0

m 0

のミッワ石鹼本舗

(市村〇金口海東京七一〇一家) 丸見屋商店

無臭味無で消化障碍を型さず。前者は異ない。 大したるが故に用量は近に少くして足り 大したるが故に用量は近に少くして足り 大したるが故に用量は近に少くして足り 大したるが故に用量は近に少くして足り

料不要代明實力 一次の から 本学生 単上無比貴任 素無効返 本さんは 七世氏 よ 忽治る なき人は 七世氏 よ 忽治る なき人は 七世氏 よ 忽治る さんぱん 世界で 単一 一次の から 本学生 単一 一次の から 本学生 単一 一次の から 本学生 単一 一次の から 本学生

でならしむる等、専ら化粧用に適する様に製造され、 「臓を強防し、皮膚を利け、色素を良くし、肌圧を ので、いる等、はないに、いるで、 のでは、 の



文献・説明書並に見本品送呈

他はに ミツワ歯流液 场入 二十錢



日英米佛專賣特許 醫學諸大家實驗推獎 にも適する肝油製滋養料の白眉 美味佳香の菓子形を呈し、 が油ドロップス 小見は勿論何人の嗜好

咽 醫田-四五部電 0

PAR LOTION SANCOLA

(国 章 國)

光線治療は今!靈嬌云朝大連治療 ◎結核の征服には日光の外になし。 ◎結核の征服には日光の外になし。 ◎治療器の販賣、貸無をなる。 ※物や人工系線などの適に及ぶ處を非ず。 ※物や人工系線などの適に及ぶ處を非ず。 ◎各醫院、學校、家庭、クラブに推奨する の治療器の販賣、貸無をなる。 ※物や人工系線などの適に及ぶ處を非ず。 ◎本核の征服には日光の外になし。 太陽光線療法

大連市信濃町(市場正門前)

案

内

澤山入荷致しました物諸材料品。夏物卓子掛。

レース類。籐の製品

=

家庭園藝の趣味

が味を知ることが出來る 一

ない人には想像の出来ないとこない人には想像の出来ないとは無臓新風景をつくつた時その家の健全さ、明るさ樂しさは經驗

こととなる。ころの庭で

家の健康を生む

やすらひに の木陰の

商店

向貸家 伊勢町

金融 申込所服祭町親和公司內 中山信用貨 L

「印料 天、族、幕、風呂敷、 電三○ L四但場町七都善炎工場へ 東辺の鍋山打彩有 東辺の鍋山打彩有 東辺の鍋山打彩有 東辺の場は打彩有 東辺の場は打彩有 東京を開せた。 東京を開せた。 東京を開せた。 東京を開せた。 東京を開せた。 東京を開始を表現。 大連市警城町五八、南海堂眉山

洋爬類舊發

きの見たゆめ

だってた が が が が

落ちてゐた

貸別 班星ヶ浦に記

高い意味を持つた多くのものが存しふ事など趣味としては他の娛樂の詩的感情にやはらげられるとか、一自然を愛する無持を趣させると云

緊縮ポスター

當選圖案(小學生の部)

左二二等

むと云ふ趣味の中には云ふまでも

なく大自然の妙味を會得するとか

無心になれると云ふ事、子供密に

宿

習字

速成教授畫夜

ミシ

よって食事の仕度をし、

大職であってこれを を捨て、家にあって を捨て、家にあって

世のでは、 は成立な他命をもつは民大運動 此の重大な他命をもつは民大運動 此の重大な他命をもつは民大運動 とは、 とは、 とは、 ともにその大目的の完成に はなりません。

Ď

否はよりかれ

世つてこれに参加し、一

即ち今までのやうに夫は夫、男は

ある妻女の闘する所では

要はそれに 不供を育

ふ國民的大運動に新しては婦人も ・ も今日の社會状態から考へて能率 ・ 増進運動とか関高災極運動とか云 ・ はならないのですが、わけて

事に考へ直してすべての事にあた

國家に對し……

やちです。 民一路家の内にあって 傳統を守る事を以てそれ です。 民一路家の内にあって の統を守る事を以てそれ のです。 にある。 ののでは、 のでは、 ののでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、

姚識婦人の仕事は育児教育、家政の監理、夫や舅はへの奉ですべてが足れりと考へてゐる者がかなり多いやらです。

はすべて女は女なるが故に貴い社會の存在であると云ふ事化で以て最も重要なものとするのでありますが、その出鏡

合せて家を繋へ、國を起すべきであると云ふ心掛けもなけ

家に於ても男と共に働き、男と力を

家庭の主婦は 國産愛用の女軍 文水

な日光の直射を浴びることは却つものであることは申すまでもありませんがそれかと言つて繰り强烈

五四里女o行衛

沙朗

淋毒 性暴丸

専門のヤナギヤへ

チチ モミ大連 電話四六九二番

特円順天堂 電話三二〇九番

两通云電車道四階建大車案: 新通云電車道四階建大車案

實印 の御用命は

話七八五九番

刷

満日案内

古本 顯度勉强

3

主婦は先づ率先し 本女子大學教授 好模範を示せ

宇體を避難にする所以であるかの には守體を眞巣にすることを以て とがあります、或一部の人々の間

障碍を

部の人々の

そのために強烈したり、

か、それは一つの錯覺にしか過ぎ

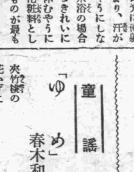
あるやら

7

と思ひます、程ともは勇敢なる國 を記憶したる女職であらればなりません。私共は解釈の製職を攻防するな職士であらればなりまたる女職士であらればなりまたなる所謂を現はし、のです。私どもは勇敢なる國際を攻防する。 一天に輝めしめる事が出来ると思は、 大になりませた。 大になります、私どもは勇敢なる國 れるのであります。

夏の日光 避けませら 唯一の 色の白さを以て

ければなりません、海水浴の場合などには海から上つたらされいに 腫水を拭き取り日隣に休むやうに します、日やけ像防の他粧料とし ては過酸化水素を含むものが最も 唯一の 響りとしてある婦を防ぐためには皮膚を目光に海射を防ぐためには皮膚を目光に海射を放ったがと 出たならばすぐに読ふやうにしなせしめないことはもとより、沢が



春木和夫

海のゆめ さびしさうに 忘れが終ま 居らない



るとかパラソルで日光の直射光線り、海から上つたら建物の影に入 にはなるべくつば廣の帽子をかぶ

を避けるやうにしなければなりま



ひそめてゐた彼の探偵趣味はムクしくと頭を擦げた。其の時彼は軽しげな人の領配をはの暗い木陰に發見した、影を

要かな夏の夜……トン吉は妻君に内所で醒を媚て置いたスペシットルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、ヤルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、マルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、マルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、マルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、マルボーナスの最後の一枚が完全になくなるまで飲み歩いた後、 に、酒に酔ってゐる彼に取って彼の妻君は恐ろしい存在であった 外務 | 計画内に変を 横き神士 | 小縣 明り一九四 | 吉田 洋 行 | 小縣 明り一九四 | 吉田 洋 行 | 小縣 明り一九四 | 吉田 洋 行 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本人来談 | 一 日本人本 | 一 日本 女給 入用 山縣通り 女中 入用ニオニ、三歳 女中 入用ニオニ、三歳

常橋橋河島ミシン店電六六八四 一番 橋橋河島ミシン店電六六八四 常陸町 渡邊商天 電六八四一不用 品親切本位買受

英文を指するイビスト生短期
一変を表示があれた北側を多い。 白帆 天帆。高級純生漉お使紙は 塵紙 此印に限るが批析は

邦文 タイピス・一英 第 曾 大連市大山前 小妹又上麦吉邦文 タイピスト短期養成 第一次 の御用命は 發電元 拓夜洋行派店 改良の三山島紙 博中に家庭向徳用の生漉 電五型三九

本

高に ・新版の準備有日本級 電話三五八匹 電話三五八匹 で新版の準備有日本級

(男女研究生一、二名採用) (男女研究生一、二名採用) (男女研究生一、二名採用) (男女研究生一、二名採用)

普際女 トキッ精工会

通勤家政婦 (原本中間) 一日一圓 (原本中間) 一日一圓

賃衣 裳 婚禮用

日盛町 たじまや電ババ〇一番 街番多上

が成乳見の 無預りの御音楽に動じます ま連市美濃町五七番地 ま連市美濃町五七番地

神の用意を調整を表するという。大連後者前の表本なり、大連後者前の表本なり

一

名刺 スグ出來ます

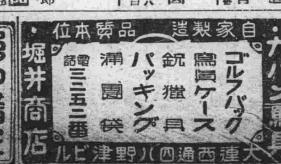
大山面(日本藩画) 占 身 親
大山面(日本藩画) 占 身 親
「田藤瀬日本タイプライター印書」
山縣瀬日本タイプライター印書」
山縣瀬日本タイプライター
の本名・「日本藩」

印曹明

理









かればする旨に、健康館の青年 具糧問題 日本國民全體が食物を は現下の食糧

一三、灰分一五、六八六、騰能五一三、灰分一五、六八六、騰能五四、八一六、脂肪一四、三 九〇五を一口に六十回宛蘭んだ場 んだ場合には 同品同量を 調べると、 先づ六十回贈

り合せにしたものを二日間

即ち五田乃至十二同階んだ試験のは分ります、次に少く階んだ際、 結果を示しますと 大體吸收率

まる言う関

敗されず、不嫌しても常然消化を取るものは一六パーセントも

連劇場際根本

「電話人二〇三番」

「大九」

「電話人二〇三番」

製六八八番へ

汗となって排泄されます、 しかし が、此の中更に脂肪や含水炭素は ら六パーセントも効をなさずに酸れによつて、今まで三杯食べたも までよりもずつと食量を少く 國民が織密に咀嚼したならば、今な事なく、しかも若し日本全體の それでもなほ気養小足に陥るやう 二杯で濟み

な家様の樹味であると思ります。 たとへそれが健か一晖か二晖の媚 だとへぞれが健か一晖か二晖の媚 を伸びてゐるのを眺める時一日の と伸びてゐるのを眺める時一日の

な家庭の趣味であると思ひます。 高唱せられてゐる折から最も適切を 家庭園とは趣味と家庭經濟とを兼 家庭観測と

下宿 場戶型總街一丁目一十

中乳 バタークリーム 電話四五三七番 電話四五三七番 牛乳 なら大正牧場 八男面 日露洋行 漁速町一丁目豪通 日露洋行 八四番 九四八四番 九四八四番 九四八四番 100000 100000 100000 100000 10000 10000 10000 10000 10000 100000 100000 100000 100000 100000 100000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 薬は ヒシカワ薬局 電話三三八五・三六七

ラデオは何で 八七二二番

ラデオ伊勢町吉野町 電話八七二七番 高級優秀品品編修理 電話八七二二番 高級優秀品品編修理 西京 大二七番 一回五給銭 令

京製

加大 服場馬 大連製水特約電達所 他的 9 電三六七四番へ

大連但馬町西広場上ル 小寺藥局 電話六六〇六番 筑後屋質店 は日本の表現の表現である。 一般の表現では、 は日本のでは、 はては、 はては、 はて、 はては、 はては、 はては、 はては、 はては、 はては、 はては、 はては、 は

重富醫院 大運西班·常翰福·西廣場中街 電話七五二八番

皮 膚 病 軟 素 素 素

池 圓 明

野中醫院

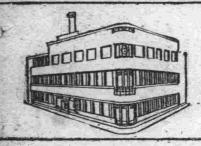
バン

0

一 保管確實 若狹屋質店 高價に買受ます 高價に買受ます 高價に買受ます 貸出勉强 弊店の特色 金融機關 簡便なる

濟生醫院 皮 性 淡尿生殖毒病 病 海 ・電話でハガセ・

大連市吉野町二五



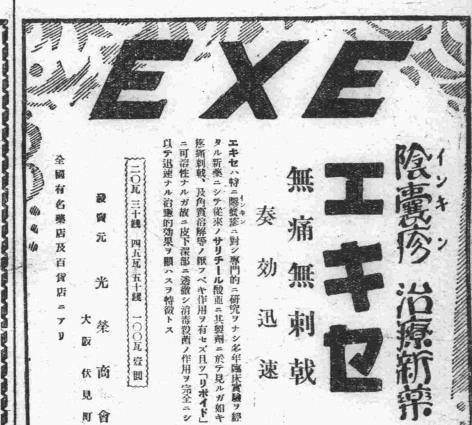
成落築新



年周五十二刊創



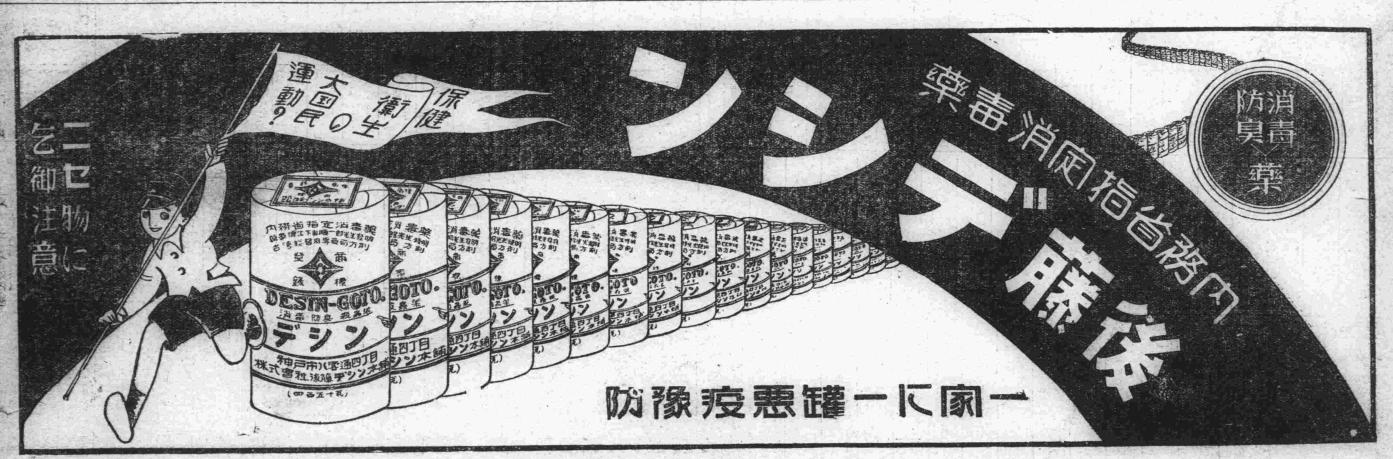




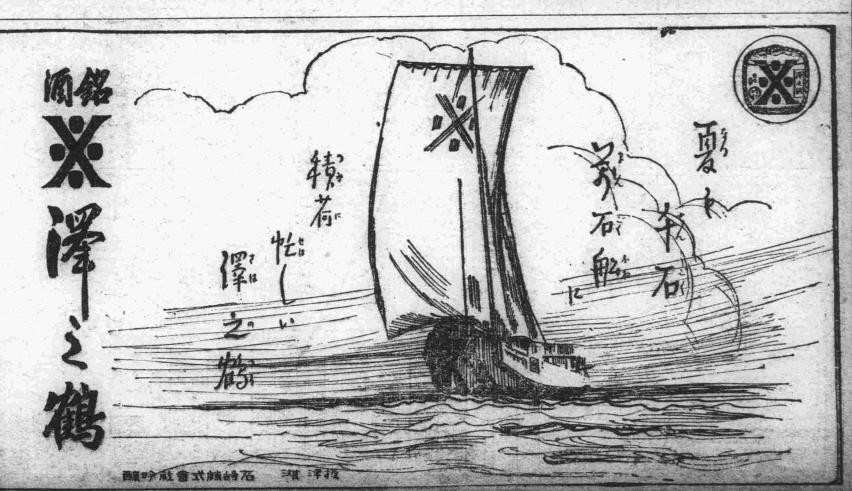
部局部用巴松

所 肥 製 木 多 a. 整

港府別州播







時間 ・170000 の間です関
をではいまれるに五人野四で聖 のではいまれるに五人野四で聖

各興行場に

改築命令を發す

愈る多年の懸案解決

九囘裏に形勢逆轉 聖德校惜 全滿少年野球戰臺回 接戦に兩軍の應援團もまた熱狂 くも

常盤高木二舗一失に生き二三盗ー 中堅河田好走シングルでとる▲ 中区でのたが河田二舗

にては過艇派生徒間に何事か秘密「京都二日發電通」第三高等圏校

されて

四決議を拒絕

供殺 國枝—河臘、河臘・橫 機壘 聖—八 常—七) 高山鶴橫木倉河河國 高山鶴橫木倉河河國

脚尖馳漫測肺結核にて死へ……この配るべき道程を辿る脈突患に侵って脱れた者はどの位あるかを補錫共された者はどの位あるかを補錫共された者はどの位あるかを補錫共産が、たところによると、補錫全世員の称二割場に楽してるが、そのうち婦人は男子百人に の配るべき道程を辿る肺疾患に肺尖肺浸潤は結核にて死へ……

の見込みである

支那人の

一日午後一時ごろ老虎難會嶺海沖

溺死體發見

角室内にこもつて運動の不足する を地の端鏡醫院常局者で在城婦人 一般に二十歳廟後の若き婦人達が是 のは直接多くの患者に接してゐる のは直接多くの患者に接してゐる 社会問題であるとしてやうやく在注目を惹いてゐるが、一碰大きなは確別における特殊の現象としては確別における特殊の現象としては

來る六日北公園滿鐵コー

4

決定す

1ルを繋跡してある、また瓦房店 1ルを繋跡してある、また瓦房店 として階院及び看護婦の草とりを として階院及び看護婦の草とりを の中心となつてのる本能主催第二 の中心となつてのる本能主催第二 の中心となつてのる本能主催第二 の市内北公園講録コートで墨行されることとなった、殿庭選話被式経験 によった、殿庭選話を になった、殿庭選話を になった、殿庭選話を になった。

日 以梨部大稲田内科に入院中のと 大は搾樹の職品のため表るニー七大は搾樹の職品のため表るニー七大は搾樹の職品のため表るニー七大は搾樹の職品のため表るニー七大は搾樹の職品のため表

上の協定をした、因に耐なバーの交換を行ひ、種

關谷仙 津萩 小川 住川 人 島原 田上 田呆

海水浴場巡り

遠く俗塵を離れ

白砂清澄をほこり顔

泳げる男子には面白いこころ

精弾な白砂でこれだけ

ることは配の尾

た練習で更に見事三年連路の栗冠を振ひ、惠まれたまの栗冠を振ひ、惠まれたま

四名づつ左の諸氏に依赐することしかして當日の審判員は雨軍より 高橋 (野中) 信太 原 (福川) 快之內 原 (福川) 快之內 原 (福川) 大大大 原 (福川) 大大大 原 (福川) 大大大 原 (福川) 大大大 原 (東區) 電視を は第二国の暴動を策してあるちし は第二国の暴動を策してあるちし してゐるので今のところ勝敗は全 て暴動を建した鮮女人共配驚員等

鮮支人共產黨員 またも蠢動 とからず二日午前二時、高鐵南山寮五十入院等で林芳治(***)から減多斬され大連臀がに入院加擦中の減鐵され大連臀がに入院加擦中の減鐵が、一大大大連臀がに入院加擦中の減鐵

第二回の暴動を策し 頭道溝村落に不穩ビラ撒布 が強見し目下戦重調査中であるビ ラの再容は

此處の海濱だけは足を切る心無いが傷家住はどちらかと言べばから肩米実験は い遊び場所だ、特理器が前方に はる島に用を漕ぎ或は泳ぎ渡さな と痛がなことである、偶家住は とである、個家住は とである、個家住は とである、個家住は とである。 百名あり二道海を中心として附近一帯に散在してゐるもので彼等の一帯に散在してゐるもので彼等の一帯とが保 第一次 に於て達成せられ 第を興撃し走狗に死刑を儲行せ なかつた目的箇所及び日本警察 なかつた目的箇所及び日本警察 なんとす各農村は老幼男女の別な く一齊に参加せよ いふにある、彼等の一味は約二 藥うり賣掛金拐帶

発験堂において派香州四名、巡補 小崎子製では三日午前九時より同

3到るところ太公望を喜ばす

蔵一右の指定期までに満工せざる 産産に出づる方畝にあり営業者(職) の概乎たる 後五階役から講覧に生徒大曹が開衛局者は繁越してゐたが、二百年

四、保證教授制度の撤廢・

六百粁を四時間で

から旅客機に乗って

米國勝殘る

三高學

盟休申合せ

戶外運動獎勵 女に多い滿鐵社員の肺患者 各醫院が一齊に 舟が發見、老虎難海岸に引 州が發見、老虎難海岸に引

健康増進に

ころ經過良好で來る十日ごろ退院 市内同仁衛二番地黄際制によれしてをり懐中の質視によれいまれたところ死後數日間

目下小樹子製で取調べて は男女が兩腕をしつ

二、現住所京城本町師口一 たが男は常線でスマートな 中年男女二人の客があつた した美人で、飛行機が開水 場に潜するや耐人は疲勢の 中ず係量にダンケと一言機 にガンケと一言機 ので表を押した、耐 日曜ケ浦酸島ホテルに宿標 である。 同日午前十 しい合意の心中らしいと、

日瀬恒ビル内大連機関區動務中二十二日午後繁時十分市内浪速町三 三階から 幼女墜死 母親の不注意

静田張嫩娘したが母親のか注意かの窓で手閣にとまって遊歌中、避 の窓で手閣にとまって遊歌中、避 で手閣にとまって遊歌中、避 がした、大連署から護本郷が は、大連署から護本郷が

女子單試合准決勝

庭球戦

(験の粉となる) (験節を挫いて倒れたのでライアン (場面を)

大量仕入

北京料理 珍味中心 大連連鎖街 扶桑仙館

満瀬日報 お繭をして、其の使命を と考察せらる。 御投書あらんことを。

TANTHE STATE OF THE PARTY OF TH 防水マント……一個八十銭より レーンコー 街店商鎖連

浪速 活動寫眞、 大藝會

紳士用 通學用

七月四日るり浪速町と



內科專門

専門櫻井内科隆

公正社事業 高 論

福盛號
ちリ ā 花 排 盔 六紙部

經過不良で死亡

人(米上六一三人(佛)

圳

七月一日より十五日まで 世界の粹を蒐た 洋酒||洋煙草||食料品各種

一元贈答品特價大 資出

珍しき品、確實なる品、信用ある品、皆樣必ず御滿足の品

大連市西通り九三

電ス語四六

抽籤券御買上高二圓毎に一枚

遊會招待

抽籤により五百名夏家河子園

遊會に御招待申上ます

抽籤……七月十六日

七月

1 日活現代劇臺本より

1

20

見

は沈默した。そして同時にテーブ
たっ然しを取って後子に 渡さりとした。然し倭子は手を出さず、身郎
でく、まるで化石したかのでもに変換かの
と思は壁でもなかった。
と思は壁でもなかった。
と思は壁でもなかった。
と思は壁でもなかった。
で代石したかのやらに突ったのが、其の層が上におきらめたのだ、まの層が上になりが表したのだ。まの層が上になりが表したのだ。まったので、まの層が上にからでもに突がなりになりが表したのだ。まったので、まの層が上にからでもに変したのだ。まったのでには自分目がをすった。 神の観えが認められてる。その中には自分目を た 優子はしばらく片手に撮響を、 別の手に飛網札を持つたま、立と まつてあた。 頭がクライへとして 何のまとまつた者へも出て水ない は鋭い姿をきすやうな 光を持つ 間は 鞭っつけた 記べしい美ひ

賢邓

0

御

信站

用制 K 依*

3

中長

上來 候

Z

礼 大流

量

生流產

0

良。

果。に

顧客諸

は

優等

秀。價。

格

は

低廉に三倍

以山

上流保・つ。

島谷汽

行人大成丸

和気の毒ででさいます ないが いたの神書では でが でする

桑木奥樣

大村書店 そしてその裏には・・・・・

てるたのか、それは役に立たぬ後 女の位事な挺絶はしたものよ、その信事な挺絶はしたものよ、その情が魅でないと云ふしるしを の同機が魅でないと云ふしるしを の間である。 枚入つてゐる。いつの間に用意し って見ると、中には五圓紙幣が一 と印刷してある。急いで封を切

網町平河町六箕筆青年修養會業青年(七月間)(定便計級東 をでそこで彼は聞もなく又言実を なるそこで彼は聞もなく又言実を ないまな、抵抗力のある事を察し ない。

(日曜金)

簡の

を得

原以

到常

莊

H

幸权

生きて行けないのかしら……これだけ働いてあるのに……と思ふき彼女は口惜しかつたのだ。そして思はず手に力が入ると握りしめてあた態校かの縁を引き裂こうとした時、其の紙の間から一つの動きが落ちた。

沙村

清衍

一四の蠅に帶の輪を描き 大連 上河海紫浪 が大連 の郷日粉の手で追はれ の郷日粉の手で追はれ がは もがく程と 田の野のときなく止まる鰡の音母の子のときなく止まる鰡の音報にして登録眠られず率天 友月率天 友月平本郷を好く育て一匹の鰡を母親もであました建 農 夫妻那部落見事な鰡を好く育て一匹の鰡に食びおちつかず 「畑」柳

珍客の膳へうるさく蠅はとび 一次を表の膳へうるさく蠅はとび 多の蠅提房のぬく味だけを飛び 多の蠅提房のぬく味だけを飛び 多の麺を前にのこして苦力起き 動の手をやすめて豊藤 かっ手をやすめて豊藤 かっ手をやすめて豊藤 かっ手をやすめて豊藤の蠅を追 畑打ちに今日も仲よく引づられ 佳 吟

13 やな南京虫 からう

Milliand with min

學問と仕事するがよい して退治なさ

によると南京里送出の最も徹底な 方法はかっです。朱づイマッ芳育 がませいします。たいそれだけで南 の中は一たまりもなく切死します れに限ります。師その後に南京里 れに限ります。師その後に南京里 和に限ります。師その後に南京里 のの台せ目、其 れに限ります。師

a

を受けられている。 は早くて利明際だったが、然し際 を裂くやうだった。そして彼女は 人前ではかってした事のない、泣

当りは

告

安子のその表情と親子とで、店

四

使子は少し離色を置くした。さらして急に今まで緊張した間持ちらして急に今まで緊張した間持ちが、何の時がも強せられなかったが、何の時がも強せられなかった。

月

七年

で云つた。

どうすればいいんだろ

ら頭をうなだれ、前よりも高い響

をの言葉は、まるで傷におちてゐる監告びらのやうに自ちやけた日 の中で嘘かれた。 優子は齎占された資物の體の間 に純糖を押し込んだ。と、同時に 足がよろくとなつた。彼女の標 足がよろくとなつた。彼女の標 のでなかれてしまったからであ

五

ではないのです。 どうも餘りよい御返事 とんな事を申し上げな 私としては ないのです。

りだ……

接手のあせる表を見て大村等店

ると殆ど聞きと

れり程の説授を後

面座

人構

い空間に倭子は限を放ってゐた。大寒には雨がなかった。その資

お賞ひだ・・・

宝し

はますから退冷の頻果が影響します。それ故イマグ芳香油で返治した後には、必ず南京虹用イマグ鰡郡、工場、大食堂などの瞬蹊には、が便利です。これらの薬品は到る 会生を防止 ・他南京県の居た場所へ撒布して配

れば、鑿切に御州談に贈じます・

於て特別に精選せしめた品です御求此の品は弊行永年の經驗から和蘭に で溶けない品とは異り少しの臭もな 料理店、菓子舗の御推賞の品で めの節は必ず『オリエンタルのマー 在來の惡臭ある不純の品やフライ鍋 て是非各御家庭の御使用を願ひます く其風味亦格別でテンプラ揚油とし

マーガリン・バター

製菓用として料理用としてカフェー乳バター同様デーブル用として好適植物性硬化油で混合物なく純粋の牛

. 兒幼. 兒乳 區車電町洩信市運大 香九五八四話電

良の品ある場合御取替へ致します

ガリン』と御指定下さい、

俳陽西料理 能延町四丁口

町大連支店

区区四六三多

※行 海藤丸 七月七日逢時つ定期大連龍口安東縣・ 起期大連・一日本日後時の上記・・ に加大連・・ に加大・・ に加大 捷汽船大連出帆 ● 九米シャトル、ヌコマネ (新客側断り はばかれ 州客側断り はばかれ 州客側断り はばかれ 州客側断り はばかれ 一般 香港 (新嘉坂綱由)

七十三八五一番

士士士士

川日本郵

門波共同汽船

の大連汽